

平成29年度

事業報告書

公益財団法人 大阪府文化財センター

事業報告書目次

I 一般庶務	1
II 埋蔵文化財調査事業	2
III 文化財資料活用事業	7
IV 大阪府立弥生文化博物館事業	13
V 大阪府立近つ飛鳥博物館事業	32
VI 泉佐野市立歴史館いずみさの事業	51
VII 日本民家集落博物館事業	60

平成29年度 事業報告

I 一般庶務

1. 理事会及び評議員会開催状況

平成29年度中、下表のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認または可決された。

年月日	会議名称	場所	議案
平成29年4月6日	臨時理事会	理事会の決議の省略 (書面表決)	1.評議員会の招集事項について
平成29年4月7日	臨時評議員会	評議員会の決議の省略 (書面表決)	1.理事1名選任(案)について
平成29年6月7日	第1回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 2.平成28年度事業報告及び収支決算について 3.定時評議員会の招集事項について
平成29年6月23日	定時 評議員会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成28年度事業報告及び収支決算について 2.理事・監事の選任(案)について 3.評議員の選任(案)について 4.中期経営計画について
平成29年6月23日	臨時理事会	理事会の決議の省略 (書面表決)	1.業務執行理事1名選定(案)について
平成29年11月10日	第2回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 2.平成29年度事業の進捗について 3.平成29年度補正予算書(案)について 4.資金運用の変更について 5.評議員会の招集事項について
平成29年11月14日	臨時評議員会	評議員会の決議の省略 (書面表決)	1.理事1名選任(案)について
平成29年12月6日	臨時理事会	理事会の決議の省略 (書面表決)	1.業務執行理事1名選定(案)について
平成30年3月20日	第3回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 2.平成29年度第二次補正予算書(案)について 3.平成30年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)、資金調達及び設備投資の見込みについて 4.評議員会の招集事項について

2. 役員・評議員の異動状況

年月日	就任	辞任
平成29年4月7日	理事 森屋直樹 (新任)	
平成29年6月23日		理事 福永伸哉 (任期満了)
平成29年6月23日	理事 秋山芳廣 (再任)	
平成29年6月23日	理事 坂井秀弥 (再任)	
平成29年6月23日	理事 嶋岡昌利 (再任)	
平成29年6月23日	理事 白石太一郎 (再任)	
平成29年6月23日	理事 網 伸也 (新任)	
平成29年6月23日	監事 鳴澤成泰 (再任)	
平成29年6月23日	監事 真川正満 (再任)	
平成29年6月23日	評議員 西野裕久 (再任)	
平成29年6月23日	評議員 松村恵司 (再任)	
平成29年6月23日		評議員 岡本克己
平成29年6月23日		評議員 須藤健一
平成29年6月23日	評議員 笠間光弘 (新任)	
平成29年6月23日	評議員 吉田憲司 (新任)	
平成29年12月1日	理事 江浦 洋 (新任)	
平成29年12月31日		業務執行理事 秋山芳廣(業務執行職の辞任)
平成30年1月1日	業務執行理事 江浦 洋(新任)	
平成30年3月31日		理事 白石太一郎

Ⅱ 埋蔵文化財調査事業

1. 調査事業

大阪府内における埋蔵文化財の発掘調査、出土遺物の整理等の事業を下記の通り実施した。

- ① 国立研究開発法人 国立循環器病研究センターが施行する国立循環器病研究センター建替整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
吹田操車場遺跡 (整理)	4,757,000	0	吹田市

- ② 西日本高速道路株式会社 関西支社 新名神大阪東事務所が施行する高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線 (八幡～高槻) 建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
高槻市 上牧地区 (試掘)	5,073,000	225	高槻市
上牧遺跡 他 (調査・試掘)	7,819,000	1,133	高槻市
船橋遺跡 他 (調査・試掘)	59,953,000	2,380	枚方市

- ③ 西日本旅客鉄道株式会社 大阪工事事務所が施行する摂津富田・茨木間新駅設置工事事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
総持寺遺跡(2) (報告書印刷)	243,000	0	茨木市

- ④ 大阪府都市整備部 茨木土木事務所 (新名神関連事業建設事業所) が施行する主要地方道西京高槻線B P道路改良事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
梶原寺跡 (整理)	4,110,000	0	高槻市

- ⑤ 大阪府都市整備部 八尾土木事務所が施行する寝屋川水系改良事業 (一級河川恩智川法善寺多目的遊水地) 地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
大泉郡条里遺跡(4)・山ノ井遺跡(2) (整理)	2,208,000	0	柏原市

- ⑥ 大阪府都市整備部 八尾土木事務所が施行する寝屋川水系改良事業（一級河川恩智川法善寺多目的遊水地）、ならびに柏原市教育委員会が施行する（仮称）恩智川多目的遊水地市民スポーツ広場建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
山ノ井遺跡(3) 〔調査・整理〕	(府) 5,217,419	5,665	柏原市
	(市) 4,251,581		

- ⑦ 大阪府住宅まちづくり部 住宅設計課が施行する大阪府営瓜破西（第4・5期）住宅（建て替え）建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
瓜破北遺跡(3・4) 〔整理〕	2,420,000	0	大阪市平野区

- ⑧ 大阪広域水道企業団事業管理部 東部水道事業所が施行する藤井寺長吉バイパス送水管整備工事事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
川北遺跡(3) 〔整理〕	3,861,000	0	藤井寺市

- ⑨ 近畿日本鉄道株式会社が施行する近畿日本鉄道奈良線連続立体交差化（都市計画道路 大阪瓢箪山線 整備）事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
花屋敷遺跡(4) 〔調査・整理〕	4,132,000	130	東大阪市

- ⑩ 吹田市教育委員会が施行する（仮称）健都ライブラリー整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
吹田操車場遺跡 〔調査・整理〕	29,671,000	1,483	吹田市

- ⑪ 枚方市上下水道局が施行する中宮浄水場更新事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
禁野本町遺跡 〔契約締結のみ〕	0	0	枚方市

- ⑫ 泉佐野市が施行する日根野公民館・プール建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
宮ノ前遺跡 〔調査・整理〕	21,556,000	1,800	泉佐野市

- ⑬ 茨木松下開発特定目的会社が施行する（仮称）茨木市松下町物流施設建設工事事業地内の発掘調査（委託者 安西工業株式会社 大阪支店）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
郡遺跡・倍賀遺跡〔整理〕	27,035,000	0	茨木市

- ⑭ 株式会社 東芝が開発し、株式会社 竹中土木 大阪本店が施行する（仮称）茨木市東芝町計画事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
太田遺跡・太田廃寺跡・太田城跡 〔調査・確認・試掘〕	45,165,000	13,200	茨木市

- ⑮ 近鉄不動産株式会社・大和ハウス工業株式会社・名鉄不動産株式会社 共同企業体（代表企業 近鉄不動産株式会社）が施行する（仮称）摂津市千里丘新町（7街区）中高層住宅建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
明和池遺跡〔報告書印刷〕	798,000	0	摂津市

- ⑯ 近鉄不動産株式会社・大和ハウス工業株式会社・名鉄不動産株式会社 共同企業体（代表企業 近鉄不動産株式会社）が施行する（仮称）摂津市千里丘新町B敷地計画事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
明和池遺跡〔調査・整理〕	9,864,000	1,861	摂津市

- ⑰ パナホーム株式会社が施行する北大阪健康医療都市（健都）2街区 高齢者向けウェルネス住宅整備・運営事業地内の発掘調査（委託者 安西工業株式会社）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
吹田操車場遺跡〔調査・整理〕	11,208,000	2,401	吹田市

- ⑱ 学校法人 関西外国語大学が施行する関西外国語大学新キャンパス建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
禁野本町遺跡〔報告書印刷〕	741,000	0	枚方市

- ⑱ 京阪電鉄不動産株式会社が施行する星田北二丁目土地区画整理事業地内の発掘調査（委託者 株式会社イビソク 大阪営業所）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
坊領遺跡（整理）	4,754,000	0	交野市

- ⑳ 星田北・高田土地区画整理準備組合が選定した業務代行予定者である株式会社 大林組、星田駅北土地区画整理準備組合が選定した業務代行予定者である戸田建設株式会社 大阪支店が支援業務を行う（仮称）東部大阪都市計画事業 星田北・高田土地区画整理事業、ならびに星田駅北土地区画整理事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
交野市 星田北・星田駅北地区（試掘）	6,038,000	558	交野市

- ㉑ 松原市天美東土地区画整理組合が選定した業務代行者である株式会社 竹中土木 大阪本店が施行する松原市天美東土地区画整理事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
池内遺跡（報告書印刷）	1,260,000	0	松原市

<平成29年度調査事業 総計>

受託件数 23件 (平成28年度 25件)
 委託金額 262,135,000円 (平成28年度 371,444,500円)
 調査面積 30,836㎡ (平成28年度 31,317㎡)

(平成24年度 受託件数 35件 調査面積 76,041㎡)

(平成25年度 受託件数 32件 調査面積 31,542㎡)

(平成26年度 受託件数 30件 調査面積 39,384㎡)

(平成27年度 受託件数 28件 調査面積 89,865㎡)

2. 技術支援

大阪府外で実施された下記の埋蔵文化財発掘調査について、調査主体である各法人からの依頼に基づいて職員を出向させ、技術支援を行った。

- ① 公益財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施する東日本大震災復興
 関連事業地内の発掘調査（平成25年度～） 1名
 〔調査・整理〕 鹿糠浜Ⅱ遺跡
 〔調査〕 北ノ沢Ⅰ遺跡 鹿糠浜Ⅰ遺跡 【洋野町】
- ② 公益財団法人 かながわ考古学財団が実施する第二東海自動車道横浜名古屋線（新東名高
 速道路）建設事業地内の発掘調査（平成27年度～） 5名
 〔調査〕 菩提横手遺跡 戸川諏訪丸遺跡 戸川稲荷木遺跡
 堀西下森戸遺跡 三廻部東耕地遺跡 葛蒲内開戸遺跡 【秦野市】
- ③ 公益財団法人 京都市埋蔵文化財研究所が実施する京都市内の開発事業地内の発掘調査
 （平成28年度～） 3名
 〔調査〕 平安京右京三条三坊五町跡・西ノ京遺跡 平安京左京六条二坊九町跡・
 烏丸綾小路遺跡 平安京左京八条四坊一町・御土居跡
 〔整理〕 寺町旧域（妙満寺跡・本能寺跡） 平安京右京七条一坊二・七・八町・
 御土居跡 堂の口遺跡
- ④ 公益財団法人 和歌山市文化スポーツ振興財団 埋蔵文化財センターが実施する市民会館
 （仮称）市民文化交流センター建設事業地内の発掘調査 2名
 〔調査〕 和歌山城跡（第34次）
- ⑤ 公益財団法人 鳥取県教育文化財団が実施する一般国道9号（鳥取西道路）建設事業地内
 の発掘調査（平成21年度～） 2名
 〔整理〕 金沢坂津口遺跡 松原田中遺跡 【鳥取市】

Ⅲ 文化財資料活用事業

文化財の資料活用を図るため、平成 29 年度は次の事業を実施した。

1. 文化財講演会事業

(1) 講演会事業として、シンポジウム・講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
4月16日	「鉄と倭人」	一般	近鉄文化サロン	78	でかける博物館講座 弥生博『「倭人」の考古学』
5月18日	「古墳時代の 武器・武具と戦争」	一般	近鉄文化サロン	75	でかける博物館講座 近つ博『古墳が語る古代史』
6月15日	「倭人の衣」	一般	近鉄文化サロン	59	でかける博物館講座 弥生博『「倭人」の考古学』
7月20日	「被葬者を囲う石製品」	一般	近鉄文化サロン	76	でかける博物館講座 近つ博『古墳が語る古代史』
8月17日	「倭人の『絵画』」	一般	近鉄文化サロン	68	でかける博物館講座 弥生博『「倭人」の考古学』
9月21日	「稲荷山鉄剣の語るもの」	一般	近鉄文化サロン	106	でかける博物館講座 近つ博『古墳が語る古代史』
10月19日	「倭人とタコ」	一般	近鉄文化サロン	55	でかける博物館講座 弥生博『「倭人」の考古学』
11月16日	「装身具からみた 古墳副葬品」	一般	近鉄文化サロン	75	でかける博物館講座 近つ博『古墳が語る古代史』
12月21日	「後世に描かれた 倭人と卑弥呼」	一般	近鉄文化サロン	65	でかける博物館講座 弥生博『「倭人」の考古学』
12月7日 1月30日 2月20日	「正倉院文書「和泉監正税 帳」にみる古代社会」	一般	近鉄文化サロン	62	出かける博物館講座 歴史館いづみさの
1月18日	「倭人の好んだ鏡 —三角縁神獣鏡」	一般	近鉄文化サロン	93	でかける博物館講座 近つ博『古墳が語る古代史』
1月13日	「郡・倍賀遺跡の 最新調査成果」	一般	弥生文化博物館	92	スポット展示「発掘された弥生人の姿人 形・銅鐸形・石庖丁」
2月15日	「倭人の塩づくり」	一般	近鉄文化サロン	55	でかける博物館講座 弥生博『「倭人」の考古学』
2月25日	『百舌鳥古市古墳群の時代— 考古学と文献史学から—』	一般	りそな銀行 本店講堂	499	近つ飛鳥博物館 でかける博物館講演会
3月15日	「倭人の好んだ鏡 —倭の五王の鏡」	一般	近鉄文化サロン	99	でかける博物館講座 近つ博『古墳が語る古代史』

計 1,557 名

(2) 外部団体からの依頼を受けて、講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	備 考	参加人数
7月5日	「一塊の土から始まる 巨大古墳造営」	一般	LIC はびきの	はびきの市民大学	72
9月7日	「女王卑弥呼と堺」	一般	堺市立 女性センター	堺自由の泉大学 「歴史探訪と考古学講座」	33
10月8日	「考古学で探る大阪の洪水」	一般	大阪市立 自然史博物館	日本文化財科学会 公開講演会	80

10月14日	「近畿地方の青銅器生産再考 －近年出土例を通して－」	一般	茨木市立 文化財資料館	テーマ展「銅鐸をつくった人々－ 東奈良遺跡の工人集団－」講演会	90
11月15日	「中世大阪の瓦」	研修生	奈良文化財 研究所	文化財担当者専門研修 古代・中近世瓦調査課程	10
平成 29年度	「高分解能古気候学と歴史・考 古学の連携による気候変動に強 い社会システムの探索」	－	大学共同利用機関法 人間文化研究機構 総合地球環境学研 究所	研究プロジェクトの一員	－

計 285名

2. 現地説明会・現地公開事業

現地説明会・現地公開等は次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	備 考	参加人数
10月2日	茨木市 太田遺跡現地見学会	一般	太田公民館講座受講者	30
2月17日	茨木市 太田遺跡現地見学会	一般	太田公民館	80

計 110名

3. 文化財体験学習事業

(1) 体験学習、博物館実習等の受け入れを次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
7月19日～23日	博物館実習	奈良大学通信教育部	弥生文化博物館、近つ飛鳥博物館、歴 史館いずみさの、日本民家集落博物館	26
7月25日～29日	博物館実習	13大学	弥生文化博物館	18
7月31日 ～8月4日	夏季集中講座 「考古学入門」	大阪府立 今宮高校2年生	太田遺跡、弥生文化博物館、近つ 飛鳥博物館	9
8月9日～13日	博物館実習	5大学	近つ飛鳥博物館	9
8月22日～26日	博物館実習	5大学	歴史館いずみさの	7
10月19日	古代日本史研究旅行 「考古学体験」	東京都私立 和光高校2年生	太田遺跡、弥生文化博物館	28

計 97名

(2) 発掘現場等の見学等の受け入れを次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数	備 考
10月4日	発掘現場見学	茨木市立太田小学校	太田遺跡	160	6年生
12月4日	発掘現場見学	大阪府立茨木高校	明和池遺跡	12	「課題研究」授業

計 172名

(3) 児童向けの体験事業を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
7月2日	「はにわ貯金箱を作ろう」	一般 (子ども向け)	近鉄百貨店 「まなぼスタジオ」	17
8月12日	「手すきハガキをつくろう」	一般 (子ども向け)	近鉄百貨店 「まなぼスタジオ」	11

8月19日	あべの天王寺サマーキャンパス 「銅鐸風鈴をつくろう」	一般 (子ども向け)	近鉄百貨店 「まなぼスタジオ」	19
8月20日	あべの天王寺サマーキャンパス「がらがら抽選機を作って古代を学ぼう」	一般 (子ども向け)	近鉄百貨店 「まなぼスタジオ」	37

計 84 名

(4) 遺跡を巡る歴史ウォークの事業を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	参加人数	
4月9日	「菅田御廟山古墳と陪冢をめぐる」	一般	30	近つ博学芸員
6月3日	「五ヶ庄二子塚古墳と宇治の古墳」①	一般	49	近つ博学芸員
6月13日	「五ヶ庄二子塚古墳と宇治の古墳」②	一般	14	近つ博学芸員
9月17日	「寝屋川の古墳をめぐる」	一般	20	近つ博学芸員
10月22日	「脇本から纏向をめぐる」	一般	4	近つ博学芸員
12月17日	「長尾山麓の古墳をめぐる」	一般	53	近つ博学芸員
3月11日	「百舌鳥三陵をめぐる」	一般	44	近つ博学芸員

計 214 名

4. 文化財展示事業

(1) 博物館等と連携し、次の展示会等に協力した。

実施年月日	内 容	参加人数	会 場	備 考
4月26日～ 6月26日	「掘りたてホヤホヤ - 発掘速報展いばらき 2016 -」	571	茨木市立 文化財資料館	郡・倍賀遺跡の速報
7月27日～ 8月27日	「ホネの動物ランド- ホネがわかる ホネでわかる-」	2,813	大阪府立 狭山池博物館	展覧会協力
12月6日～ 1月21日	「南河内の縄文遺跡を探る」	2,253	大阪府立 狭山池博物館	大阪府教育委員会・ 大阪府立狭山池博物館共催
12月14日～ 2月18日	「郡・倍賀遺跡の 最新調査成果」	1,199	大阪府立 弥生文化博物館	スポット展示「発掘された弥生人の姿 人形・銅鐸形・石庖丁」

5. 文化財広報事業

(1) 当センターの事業年報（28年度）の編集・刊行した。

(2) ホームページにより当センター情報を提供した。

インターネットを通じて、当センターの発掘・調査、イベント、保管資料の公開、出版等に関する情報を一般に公開し、より一層文化財の普及を図った。当センターが開催した諸行事に関する情報及び現地説明会・現地公開資料等をホームページに掲載公開した。

(3) 「関西考古学の日」へ参加した。

「関西考古学の日」は、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックが、各財団の普及事業に関する情報を集約し、効率的・効果的に市民に発信することを目的として、平成20年度を初回として実施したものである。平成27年度からは広く小中学生や家族の参加を促すため、夏休み期間から秋季にかけての期間に設定し、平成29年度は7月15日から11月30日に設定された。当センターは、パンフレットの編集・作成を担当した。また、大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館、泉佐野市立歴史館いずみさのの展覧会情報を掲載した。

6. 文化財研究事業

(1) 近畿ブロック埋文研修会に参加した。

第23回の平成29年度近畿ブロック埋蔵文化財研修会は、(公財)元興寺文化財研究所が開催法人と

なり、平成 29 年 11 月 24 日(金)に開催され、当法人職員が出席した。『出土文化財の応急処置と保存処理』というテーマで 5 件の研究発表が行われた。

7. 文化財資料収集整理事業

(1) 文献及び文化財情報の収集・整理

- ① 平成 29 年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

購入図書	179冊
研究機関、行政機関等からの寄贈図書	681冊
計	860冊
累計	91,744冊

- ② 蔵書データベース、雑誌目次データベースの入力を行った。
蔵書データベースは総計 91,400 レコード。

(2) 発掘調査資料の管理

遺物・写真・図面・各種台帳等を管理した。

8. 文化財資料提供事業

(1) 発掘資料の出品、写真、映画等の貸出、資料調査

① 資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり、資料の出品を行った。

貸出先	展覧会名等	出品資料
大阪歴史博物館	特別展「渡来人いずこより」	大庭寺遺跡、久宝寺遺跡、私部南遺跡、三田古墳、三宅西遺跡、高宮遺跡。上私部遺跡、大坂城跡：須恵器、大刀ほか
大阪府立 近つ飛鳥博物館	春季特別展「東国尾張とヤマト王権 －考古学からみた狗奴国・尾張連氏－」	福井遺跡：円筒埴輪
茨木市立 文化財資料館	「掘りたてホヤホヤ ～発掘速報展いばらき 2016」	郡・倍賀遺跡：土製品、石器、磨製石剣、管玉
奈良県立橿原考古学研究所 所附属博物館	春季特別展「新作発見！弥生絵画 －弥生人がみた人・動物・風景－」	亀井遺跡、巨摩遺跡、瓜生堂遺跡、久宝寺遺跡、下田遺跡、男里遺跡、亀田遺跡、溝咋遺跡、八尾南遺跡：絵画土器ほか
大阪府立狭山池博物館	夏季企画展「ホネの動物ランド －ホネがわかる ホネでわかる－」	亀井遺跡：獣骨
大阪府立 弥生文化博物館	夏季特別展 「沖縄の旧石器人と南島文化」	粟生間谷遺跡、私部南遺跡：石器ほか
宮崎県立 西都原考古博物館	特別展「日向諸県君と葛城氏」	大庭寺遺跡：船形土器
松原市教育委員会	「難波と飛鳥を結ぶ古代の官道 －国指定史跡難波宮と難波大道－」	大和川今池遺跡：須恵器
四條畷市立 歴史民俗資料館	特別展「鸕野讃良皇女 －持統天皇と北河内の飛鳥・奈良時代－」	讃良郡条里遺跡、小路遺跡：人面墨書土器、絵馬、人形、斎串、須恵器ほか
大阪府立 近つ飛鳥博物館	秋季特別展「古墳出現期の筑紫・吉備・畿内－2・3世紀の社会と経済－」	久宝寺遺跡、小阪合遺跡、亀井遺跡、田井中遺跡、八尾南遺跡、湊遺跡：ガラス玉、管玉、土師器、鏡、板状鉄斧ほか
滋賀県立 安土城考古博物館	秋季特別展「青銅の鐸と武器 －近江の弥生時代とその周辺－」	亀井遺跡、瓜生堂遺跡、山賀遺跡、池島福万寺遺跡、巨摩遺跡、石才南遺跡、上フジ遺跡、下池田遺跡：銅鏃、鏡、銅鐸片、鑄型、石器、土製品ほか
大阪府立 弥生文化博物館	秋季特別展「海に生きた人びと －漁撈・塩づくり・交流の考古学－」	下田遺跡、湊遺跡、三田古墳、男里遺跡、小島北磯遺跡、脇浜遺跡、田山遺跡：製塩土器、タコ壺、土錘ほか

堺市立 みはら歴史博物館	特別展「河内鋳物師の誇りⅣ －鎌倉大仏の鋳造と東国の鋳物師－」	余部日置荘遺跡：軒丸瓦
大阪府立 弥生文化博物館	冬季企画展 「かけがえのない文化財を守る、伝える －大阪における歩みと展望－」	瓜生堂遺跡、大庭寺遺跡、巨摩遺跡：弥生土器、須恵器
国立歴史民俗博物館	企画展示「世界の眼でみる古墳文化」	大庭寺遺跡：須恵器

等 14 件

計 421 点

② 常設展示資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり常設展示の資料の出品を行った。

大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立狭山池博物館、泉佐野市立歴史館い
ずみさの、和泉市立いずみの国歴史館、堺市博物館、堺市立みはら歴史博物館、吹田市立博物館、
太子町立竹内街道歴史資料館、舞鶴市立赤れんが博物館

計 10 件 277 点

③ 写真資料の貸出

行政機関の他、出版社等からの依頼を受けて下記のとおり貸出掲載した。

大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立弥生文化博物館、大阪府立狭山池博物館、大阪府教育庁文化財
保護課、百舌鳥古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、国立歴史民俗博物館、栃木県那珂川町
なす風土記の丘資料館、滋賀県立安土城考古博物館、八尾市立歴史民俗資料館、四條畷市立歴史民
俗資料館、茨木市立文化財資料館、和泉市いずみの国歴史館、尼崎市立田能資料館、生駒ふるさと
ミュージアム、大津市歴史博物館、姫路市埋蔵文化財センター、歴史に憩う橿原市博物館、龍谷大
学龍谷ミュージアム、八尾市、松原市、四條畷市、兵庫県たつの市、埼玉県熊谷市、毎日新聞、ク
パプロ、戎光祥出版、岩波書店、朝倉書店、中央公論新社、ジャパン通信情報センター、吉川弘文
館、東京書籍、株式会社 140B、京都大学学術出版会、雄山閣、洋泉社、朝日新聞出版、NHK 大阪、
他、テレビ局等

計 38 件 230 点

④ 資料調査

研究者、専攻学生、博物館等から研究のためや展示借用予定資料の事前調査に対応した。

大阪府立狭山池博物館 2、大阪歴史博物館、堺市博物館、大阪大学学生 3、近畿大学学生

計 8 件

(2) 出版物の寄贈・交換

関係団体等、行政機関、研究機関等に対して当センターの刊行出版物を寄贈配付した。

(3) 図書の出版・販売・ミュージアムグッズ販売

① 図書の出版・販売

平成 29 年度は、下記の図書を増刷し、販売した。

- 1 第 279 集 明和池遺跡 5
- 2 第 280 集 総持寺遺跡 4
- 3 第 281 集 禁野本町遺跡Ⅵ
- 4 第 282 集 池内遺跡 4
- 5 第 283 集 大県郡条里遺跡 4・山ノ井遺跡 2
- 6 第 284 集 吹田操車場遺跡 14
- 7 第 285 集 瓜破北遺跡 2
- 8 第 286 集 花屋敷遺跡 4
- 9 第 287 集 梶原寺跡
- 10 第 288 集 坊領遺跡
- 11 第 289 集 山ノ井遺跡 3

- 12 年報 平成 28 年度
- 13 「大阪文化財研究」第 51 集
- 14 大阪府教育庁文化財調査事務所年報 21
- 15 宮園遺跡
- 16 西福井遺跡Ⅱ
- 17 府中遺跡
- 18 弥生文化博物館 夏季特別展「沖縄の旧石器人と南島文化」
- 19 弥生文化博物館 秋季特別展「海に生きた人びとー漁撈・塩づくり・交流の考古学ー」
- 20 弥生文化博物館 冬季企画展「かけがえのない文化財を守る、伝えるー大阪における歩みと展望ー」
- 21 近つ飛鳥博物館春季特別展「東国尾張とヤマト王権ー考古学からみた狗奴国・尾張連氏ー」
- 22 近つ飛鳥博物館 秋季特別展「古墳出現期の筑紫・吉備・畿内ー2・3世紀の社会と経済ー」
- 23 近つ飛鳥博物館館報 21

※14 から 17 については大阪府教育委員会刊行物の増刷である。

② 図書の販売

博物館において来館者サービスの一環として、展示に関連した各出版社の書籍を委託販売した。

③ 博物館における関連グッズ販売提供

博物館において来館者サービスの一環として、魅力あるミュージアムグッズの販売をおこなった。

9. 保存処理事業

(1) 平成29年度保存処理事業一覧

調査事業に関連して以下の通り保存処理事業を実施した。

遺跡名	処理種別	処理方法	処理数量
近畿道関連	木製品	整理・点検	200点
大坂城遺跡	木製品	整理・点検	200点
讃良郡条里遺跡	木製品	PEG-FD処理	50点
大坂城址Ⅲ	木製品	PEG-FD処理	100点
大坂城跡6	木製品	PEG-FD処理	90点
大坂城跡7	木製品	PEG-FD処理	150点
有池遺跡	木製品	PEG-FD処理	50点
玉櫛遺跡	木製品	PEG-FD処理	50点
井尻遺跡	木製品	PEG-FD処理	10点
成合地獄谷遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	100点
千提寺西遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	40点
花屋敷遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	1000点
井尻遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	100点
大県郡条里遺跡16-1	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ1箱
梶原寺跡16-1	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ2箱
吹田操車場遺跡17-2	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ2箱
X線調査	各種遺物	X線透視撮影	石製遺物2点
X線調査	各種遺物	X線透視撮影	金属遺物10点

PEG: ポリエチレングリコール FD: 真空凍結乾燥を示す。

IV 大阪府立弥生文化博物館事業

1. 常設展示

(1) 第1展示室

「目で見る弥生文化」は、タイムトンネルと実物大の竪穴住居からなる導入ゾーン、「米づくりの始まり」、「新しい技術の誕生」、「ムラ・戦い・クニ」、「弥生人」、「交流」、「死とまつり」の6つのテーマゾーン、鏡を掲げ持つ卑弥呼像を中心に、卑弥呼の時代前後の鏡と卑弥呼ゆかりの復元品を展示するシンボルゾーンの3つのゾーンで、弥生文化をビジュアルに展示した。

なお、展示室前の「弥生プラザ」は、各地の弥生文化を代表する遺跡から出土し、注目される資料を展示するコーナーである。

<弥生プラザ展示>

「発見された縄文のムラ 河内長野市鳩原遺跡」平成29年2月1日(水)～平成29年8月3日(木)

「南河内の高地性集落—河南町東山遺跡—」平成29年8月4日(金)～平成30年2月25日(日)

「方形周溝墓に供えた土器—和泉市府中遺跡—」平成30年3月1日(木)～展示中

(2) 第2展示室

「池上曾根ワールド」と題して、国史跡池上曾根遺跡から出土した資料を展示し、博物館周辺の弥生遺跡マップを設置した。

2. 特別展企画展事業

(1) ミュージアムギャラリー 「創作展いずみ—和泉市文化協会美術部門11部門の粹—」

【入館者数：11,102名 198名/日】

ア. 開催概要 地元和泉市において文化活動に積極的に取り組んでいる和泉市文化協会の美術11部門(押し花、木彫り、写真、書道、水墨画、ちぎり絵、陶芸、南画、日本画、俳画、洋画)の会員の粹を集めた創造的な作品展示を博物館で開催することにより、地元の皆様をはじめ多くの方々に美術作品を鑑賞していただき、地域に開かれた親しまれる博物館としての役割を担った。

イ. 開催期間 平成29年4月15日(土)～6月18日(日) 【会期：56日間】

(2) 夏季特別展「沖縄の旧石器人と南島文化」

【入館者数：11,614名 168名/日】

ア. 開催概要 沖縄では、旧石器時代の人骨化石が数多く発見されてきた。特に、約2万年前の港川人は、日本列島の旧石器人を代表する人骨化石として、広く知られている。本展覧会では、新発見が続く琉球列島の旧石器時代を中心に、沖縄の特色ある人類史をテーマとした。人類の起源と進化のあらましからスタートし、沖縄の洞穴遺跡から出土した旧石器時代人骨や貝器を中心に、縄文・弥生時代と同時期の貝塚文化や、グスク、王国に至る南島文化を紹介した。加えて、沖縄とは異なる変遷を遂げた大阪の旧石器時代の石器と比較を行い、日本列島の文化と環境の多様性を浮き彫りにした。

イ. 開催期間 平成29年7月1日(土)～9月18日(月祝) 【会期：69日間】

ウ. 印刷物 図録、リーフレット

- エ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。
7月1日(土)43名、15日(土)31名、22日(土)52名、
8月19日(土)65名、26日(土)54名 【参加者数：計245名】
- オ. 展示支援 公益財団法人日本海事科学振興財団による「海の学びミュージアムサポート」の「海の企画展サポート」に応募し、資金の援助を受け、展覧会を充実させた。
【支援金：6,200,000円】

(3) 秋季特別展「海に生きた人びとー漁撈・塩づくり・交流の考古学ー」

【入館者数：7,260名 145名/日】

- ア. 開催概要 日本列島では、海を生活の場とする人びと、「海民」が活躍し、歴史を動かす原動力となった。展示では弥生時代を中心に、縄文時代から古代までの漁撈(漁業)・塩づくりといった海での活動の技術的な変化や地域的な多様性と、海が結ぶ地域間の交流を出土資料から明らかにした。考古学から海民文化の鮮明な姿を描き出した。
- イ. 開催期間 平成29年10月7日(土)～12月3日(日) 【会期：50日間】
- ウ. 印刷物 図録、リーフレット
- エ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。
10月21日(土)26名、11月3日(金祝)25名、25日(土)47名、
12月2日(土)32名 【参加者数：計130名】

(4) 冬季企画展「かけがえのない文化財を守る、伝えるー大阪における歩みと展望ー」

【入館者数：9,812名 161名/日】

- ア. 開催概要 “大阪”の地では、今日に至るまでの長い歴史のなかで、地域に根付いた文化がはぐくまれ、人々が寄り添う自然や景観が受け継がれてきた。大阪府教育庁文化財保護課は、これまで半世紀にわたって、かけがえのない文化財を守り、伝えてきた。本展では、文化財保護の歩みを紹介するとともに、これからの半世紀に向けた新しい文化財保護のあり方、その展望を共に考えた。
- イ. 開催期間 平成30年1月20日(土)～3月31日(土) 【会期：61日間】
- ウ. 印刷物 図録
- エ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。
2月10日(土)21名、25日(日)10名、3月3日(土)14名
【参加者数：合計45名】

(5) スポット展示

- ① 「発掘された弥生人の姿 人形・銅鐸形・石庖丁」 【観覧者数：5,814名】
- ア. 開催概要 2016年から発掘調査が行われた茨木市の郡遺跡・倍賀遺跡より出土した遺物を展示した。
- イ. 開催期間 平成29年12月14日(木)～平成30年2月18日(日) 【会期：51日間】
- ウ. 場所 2階特別展示室前

3. 講演会事業等

(1) ミュージアムギャラリー「創作展いずみー和泉市文化協会美術部門11部門の粹ー」関連

① 関連講座

- 4月22日(土)「弥生のガラス」 当館学芸員 井上知花 【参加者数：84名】
「弥生の鏡」 当館総括学芸員 塚本浩司
- 5月20日(土)「弥生の色」 枚方市教育委員会 井ノ上佳美 【参加者数：90名】
「弥生の絵画」 当館総括学芸員 中尾智行

(2) 夏季特別展「沖縄の旧石器人と南島文化」関連

① 開会セレモニー 7月1日(土)

【参加者数：43名】

② 考古学セミナー

- 7月15日(土)「最古の関西人あらわる!?!ー古本州島における大阪の旧石器文化ー」【参加者数：158名】
大阪文化財研究所研究副主幹 絹川一徳
- 7月22日(土)「海を越えた旧石器人ー3万年前の大航海の謎に迫るー」 【参加者数：220名】
国立科学博物館人類史研究グループ長 海部陽介
- 8月19日(土)「沖縄の旧石器人と人類の起源」 【参加者数：265名】
沖縄県立博物館・美術館主任 山崎真治
- 8月26日(土)「琉球の歴史と文化」 【参加者数：215名】
沖縄県立博物館・美術館館長 田名真之

(3) 秋季企画展「海に生きた人びとー漁撈・塩づくり・交流の考古学」関連

① 考古学セミナー

- 10月21日(土)「古代日本の遠距離交流と文化伝播」 【参加者数：133名】
横浜市歴史博物館館長 國學院大學名誉教授 鈴木靖民
- 11月3日(金祝)「弥生・古墳時代の漁具について」 【参加者数：107名】
兵庫県立考古博物館館長 立命館大学名誉教授 和田晴吾
- 11月25日(土)「瀬戸内海に生きた弥生・古墳時代の人びと」 【参加者数：137名】
愛媛大学埋蔵文化財調査室准教授 柴田昌児
- 12月2日(土)「動物考古学からみた漁撈活動の変遷」 【参加者数：149名】
早稲田大学教育学部講師 樋泉岳二

② 関連ワークショップ

- 10月15日(日)「チリモンを探せ!」 【参加者数：56名】
- 11月18日(土)「土器を使って塩づくりをしよう!」 【参加者数：355名】

(4) 冬季企画展「かけがえのない文化財を守る、伝えるー大阪における歩みと展望ー」関連

講演会

- 2月10日(土)「大阪府における埋蔵文化財行政50年」 【参加者数：92名】
日本民家集落博物館館長 井藤 徹・大阪府教育庁文化財保護課課長 森屋直樹・当館副館長 秋山浩三
- 2月25日(日)「文化財の保護から活用へ」 【参加者数：39名】
公益財団法人大阪府文化財センター理事長 田邊征夫

3月3日(土) 「大阪府の寺社建築—その特質と保護の歩み—」 【参加者数:65名】

公益財団法人和歌山県文化財センター理事長 櫻井敏雄

(5) スポット展示「発掘された弥生人の姿 人形・銅鐸形・石庖丁

—茨木市郡遺跡・倍賀遺跡の最新調査成果— 関連

講演会 1月13日(土) 【参加者数:92名】

講演 「郡遺跡・倍賀遺跡の最新調査成果」

公益財団法人大阪府文化財センター調査課課長補佐 三好孝一

関連報告①「魚が描かれた銅鐸形土製品—郡遺跡・倍賀遺跡の鹿絵画例との関連で…」

当館副館長兼学芸課長 秋山浩三

関連報告②「弥生の人物造形—よみがえる弥生人の姿—」 当館総括学芸員 中尾智行

(6) 弥生プラザ展示関連

講演会 4月8日(土)「発見された関西の縄文ムラ」 【参加者数:88名】

講演①「鳩原遺跡の調査と最近の府内縄文遺跡の調査成果」

大阪府教育庁文化財保護課主任専門員 渡邊昌宏

講演②「関西地方の縄文後期の様相—精神文化・装身具を中心に—」

枚方市教育委員会文化財保護課 井ノ上佳美

9月9日(土)「高地性集落の特質と研究」 【参加者数:156名】

講演①「和泉地域と高地性集落—観音寺山遺跡—」 当館学芸員 井上知花

講演②「高地性集落の成立類型にみる東山遺跡—もどかしく悩ましい研究状況をめぐって—」

当館副館長兼学芸課長 秋山浩三

(7) 弥生時代講座 聞いてなっとく弥生の世界(近畿弥生の会との共催)

8月5日(土)「銅鐸を作った人々—弥生時代の鑄造技術と工人集団—」 【参加者数:122名】

茨木市立文化財資料館学芸員 清水邦彦

10月14日(土)「春秋戦国時代の燕国と弥生文化」 【参加者数:143名】

奈良大学文学部教授 小林青樹

12月9日(土)「調理器具からみた弥生前期文化」 【参加者数:59名】

滋賀県立琵琶湖博物館学芸員 妹尾裕介

2月17日(土)「竪穴建物からみた弥生社会」 【参加者数:78名】

大阪市教育委員会文化財保護課学芸員 櫻田小百合

【4回参加者数計:402名】

(8) 弥生博 木曜大学

昨年度は1日当たりの来館者数が多かったベスト18の特別展を取り上げたが、今回は前回取り上げなかった展示内容に再チャレンジし、紹介した。

テーマ「再挑戦、弥生博！」

講師 当館館長 黒崎 直(◇印)、当館副館長 秋山浩三

前期【夏の講義】

6月1日(木)「縄紋の祈り・弥生の心—森の神から稲作の神へ—」 【参加者数:172名】

- 6月8日(木) 「弥生創世記—検証・縄文から弥生へ—」 【参加者数：194名】
- ◇6月15日(木) 「縄文の世界像—八ヶ岳山麓の恵み—」 【参加者数：187名】
- 7月6日(木) 「サンゴ礁をわたる碧の風—南西諸島の中の弥生文化—」 【参加者数：188名】
- ◇7月13日(木) 「MASK—仮面の考古学—」 【参加者数：152名】
- 7月20日(木) 「北陸の玉と鉄 弥生王権の光と影」 【参加者数：209名】
- 8月3日(木) 「稲作とともに伝わった武器」 【参加者数：195名】
- ◇8月10日(木) 「古代の木の道具—ここまできた保存技術—」 【参加者数：153名】
- 8月17日(木) 「卑弥呼の音楽会—ま・つ・り・の・ひ・び・き—」 【参加者数：176名】
- 後期【秋・冬の講義】
- 10月5日(木) 「弥生画帖—弥生人が描いた世界—」 【参加者数：145名】
- ◇10月12日(木) 「倭人がみた龍 龍の絵とかたち」 【参加者数：146名】
- 10月19日(木) 「卑弥呼の宝石箱—ちょっとオシャレな弥生人—」 【参加者数：183名】
- ◇11月9日(木) 「弥生建築—卑弥呼のすまい—」 【参加者数：168名】
- 11月16日(木) 「仙界伝説—卑弥呼の求めた世界—」 【参加者数：157名】
- 11月30日(木) 「弥生都市は語る 環濠からのメッセージ」 【参加者数：161名】
- 12月7日(木) 「王の居館を探る」 【参加者数：139名】
- ◇12月14日(木) 「弥生文化研究への熱いまなざし 森本六爾、小林行雄と佐原 真」 【参加者数：171名】
- 12月21日(木) 「大和王権と渡来人 三・四世紀の倭人社会」 【参加者数：207名】

(9) 新旧学芸員承継ミニシンポジウム

- 6月17日(土) 【参加人数：80名】
- 「源氏絵—物語の場面選択と構図—」 当館学芸員 宮寄奈美加
- 「記紀などにみる枚方—史跡を中心に—」 枚方市教育委員会 井ノ上佳美
- 「西宮市の歴史と文化」 西宮市教育委員会 瀬尾晶太
- 「文化財を守り、伝える—無形文化財、民俗文化財について—」 大阪府教育庁 北原翔子
- コーディネーター 当館学芸員 井上知花

(10) 若き考古学徒、論壇デビュー!

- コーディネーター 黒崎 直(当館館長) & 秋山浩三(当館副館長)
- 第1回 1月27日(土) 【参加者数：84名】
- 「穿孔・打ち欠き土器からみた弥生時代中期の葬送儀礼」
- 近畿大学文芸学部文化・歴史学科4年次生 相馬勇介
- 「プトレマイオス朝エジプト、メンフィスにおける動物墓地について」
- 近畿大学文芸学部文化・歴史学科4年次生 清水麻里奈
- 「総国分寺、東大寺の成立過程」 当館学芸スタッフ 木村 歩
- 第2回 2月24日(土) 【参加者数：89名】
- 「生駒山西麓の胎土を用いた土器の生産と流通—古墳出現前後の中河内地域を対象に—」
- 大阪大学文学部人文学科考古学専修4年次生 西浦 熙

「日本古代の蒸し調理と甗形土器—6・7世紀の摂河泉地域を分析事例として—」

大阪大学文学部人文学科考古学専修4年次生 飯塚信幸

「古代寺院の基壇外装について」

関西大学文学部総合人文学科日本史・文化遺産学専修3年次生 北川咲子

第3回 3月10日(土)

【参加者数:77名】

「代打!<若き考古学徒>、後期・前方後円墳の発掘 ドキュメンタリー・物集女車塚古墳」

当館副館長兼学芸課長 秋山浩三

「「折り曲げ鉄器」からみる鉄器生産技術の関連と拡大について」

大阪市立大学大学院文学研究科日本史学専修前期博士課程2年次生 阿部大誠

(11) 弥生フェスティバル連続講演会「世界と日本列島の旧石器文化」

3月21日(水祝) 「世界旧石器時代の骨角器文化」

【参加者数:88名】

首都大学東京名誉教授 小野 昭

3月22日(木) 「旧石器時代の環境文化史」

【参加者数:117名】

国立歴史民俗博物館准教授 工藤雄一郎

3月27日(火) 「日本列島の旧石器文化とその起源」

【参加者数:175名】

岡山大学名誉教授 稲田孝司

3月28日(水) 「世界と日本の旧石器時代女性像」

国立歴史民俗博物館名誉教授 春成秀爾

【参加者数:140名】

(12) その他

① 9月18日(月祝) 地域の核となる美術館歴史博物館支援事業 いにし絵てがみ関連講演会

「結ぶ ヒトとイニシエ」

【参加者数:37名】

「『赤崎水曜日郵便局』 廃校がつむぐ一期一会の物語」

つなぎ美術館学芸員 楠本智郎

「復元イメージから見える 人と世界の結ばれ方」

イラストレーター 安芸早穂子

② 1月20日(土) ミニギャラリー「古代の表現と考古スケッチの魅力」 関連 【参加者数:85名】

「描く・彩る いにしへの絵画」 天理大学客員教授 深澤芳樹

「記憶としての記録でつなげる～考古スケッチの魅力～」

羽曳野市立人権文化センター館長 河内一浩

トークセッション: 深澤芳樹・河内一浩・平地和広・宮野ミケ

③ 2月3日(土) 古代オリエントをたのしむ 関連講演会 【参加者数:79名】

「古代オリエントが現代人にのこしたもの: 文字と貨幣のものがたり」

古代オリエント博物館研究員 田澤恵子・津村眞輝子

4. 「府民が参加する博物館」事業

(1) やよいミュージアムコンサート

エントランスホールでコンサートを実施した。出演者は公募し、その選考はミュージアムコンサート運営

委員会が行った。

運営委員：稲本 直（コンサート企画）、西川光子（ピアノ）

- 6月25日（日）「つなげよう心のうた」 福井愛・内藤千華・藤井 稲 【参加者数：182名】
- 7月9日（日）「クラシック音楽で巡る世界の旅」 若井亜妃子 【参加者数：193名】
- 7月16日（日）「木原 透 癒しのソロギターコンサート」 木原 透 【参加者数：197名】
- 7月23日（日）「フルートカルテット 涼風のしらべ」 【参加者数：175名】
フルートアンサンブル filer（苅谷 真ほか3名）
- 8月27日（日）「フルート&ピアノで語る 音楽物語ドラマ～再会」 【参加者数：172名】
大城梨花・大城杏花
- 9月2日（土）トワイライトコンサート「唄と三線、南風にそよぐ～沖縄音楽の夜～」 【参加者数：157名】
太田勝也と島唄ジョーグー
- 9月10日（日）「一新紀元～歴史を生み出そう！名曲をアレンジVol.2～」 【参加者数：219名】
ティーマ：中地聖子・竿下和美
- 10月1日（日）「楽しいオカリナアンサンブル」 【参加者数：138名】
オカリナアンサンブル『ぴくにつく』
- 11月12日（日）「井阪あゆみと楽しい仲間たち～Fl-pia-note♪～」 【参加者数：176名】
井阪あゆみ・吉田奈穂・久斗理恵
- 11月26日（日）「箏・三絃・尺八コンサート 晩秋～ひとひらの葉～」 【参加者数：149名】
邦楽合奏団「地涌」（菊豊敦子ほか20名）
- 12月3日（日）「遥響-HARUKA-心の旅～二胡&シンセサイザー～」 【参加者数：211名】
遥響：岸谷宏茂・楠田名保子
- 12月10日（日）「2台のピアノによるコンサート Piano!×Piano! My Favorite Things」 【参加者数：186名】
武田友子・吉田薫・田村安友子・仲西洋子
- 12月17日（日）「子どもたちとともに クリスマスをVol.2」 和泉市少年少女合唱団 【参加者数：127名】
- 12月24日（日）「フルート&ピアノデュオリサイタル～動物の世界～」 【参加者数：140名】
谷村和美・吉野正江
- 1月7日（日）「新春到来！～津軽三味線の響き～」 【参加者数：241名】
亀谷英明・亀谷達也・亀谷千香子
- 1月28日（日）「ロマンティック・バラード～ピアノで綴る19世紀の物語～」 【参加者数：182名】
森澤 博
- 2月11日（日）「千夜一夜物語～ヴァイオリンとハープの調べ～」 【参加者数：236名】
Duo CREA：農頭奈緒・佐々木美香
- 3月11日（日）「リコーダーとソプラノ、ピアノの響き～18世紀を過ごした音楽家たち～」
水上陽一・上廣綾子・石田美佳子 【参加者数：219名】
- 3月18日（日）「2本のフルートとピアノの響き」 【参加者数：201名】
辻井義祐・要 枝三里・河合琴絵

(2) ミニギャラリー

エントランスホールで絵画等の展示を行った。

- ① 6月27日(火)～7月8日(土)「山野史郎ガラス工芸展 網目ガラスの世界」【入館者数：931名】
- ② 10月3日(火)～10月28日(土)「伊丹市昆虫館ときしわだ自然資料館が弥生博にやってくる！」
(共催：伊丹市昆虫館・きしわだ自然資料館)【入館者数：2,598名】
- ③ 1月10日(火)～1月27日(土)「古代の表現と考古スケッチの魅力」【入館者数：1,219名】
- ④ 2月12日(月祝)～3月10日(土)「潮見満英ばく画展 大和路 京都 鎌倉」【入館者数：1,888名】

(3) 第22回絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」

小中学生から弥生時代をイメージした絵を募集し、優秀作品を当博物館エントランスホールで7月29日(土)から8月12日(土)まで展示した。【入館者数：1,763名】

審査員：小灘一紀(画家・日展評議員)、石橋敏彦(元泉大津市立条南小学校校長)

- ① 応募期間：5月23日(火)～6月25日(日)
- ② 応募点数：143点
- ③ 表彰式：7月29日(土) 金賞「弥生時代の毎日」宰田貫市(大阪市立住之江小学校6年)
金賞「竪穴住居での暮らし」大原帆乃花(堺市立浜寺昭和小学校6年)
銀賞2点、銅賞2点、佳作10点を含む入賞76点

(4) ボランティア活動

ワークショップ協力、展示室巡視、出前授業補助、書庫整理、障がい者来館補助、翻訳等の分野で活動を行った。

【活動日数：177日 協力者数：294名】

4月 団体見学に向けての打合せ、道具作り、展示室巡視、出前授業補助、子どもFD

【活動日数：20日 協力者数：43名】

5月 道具作り、展示室巡視、出前授業補助、子どもFD、館外ワークショップ補助

【活動日数：27日 協力者数：36名】

6月 道具作り、展示室巡視、子どもFD、出前授業補助、広報活動補助【活動日数：20日 協力者数：35名】

7月 道具作り、子どもFD、館外ワークショップ補助【活動日数：14日 協力者数：20名】

8月 土器製作補助、道具作り、子どもFD、館内ワークショップ補助、館外ワークショップ補助、

出前授業補助

【活動日数：11日 協力者数：18名】

9月 道具作り、子どもFD、出前授業補助、館外ワークショップ補助【活動日数：15日 協力者数：19名】

10月 道具作り、子どもFD、出前授業補助

【活動日数：12日 協力者数：17名】

11月 道具作り、子どもFD、館外ワークショップ補助、出前授業補助、関西文化の日ワークショップ

【活動日数：14日 協力者数：17名】

12月 道具作り

【活動日数：8日 協力者数：11名】

1月 道具作り、子どもFD

【活動日数：10日 協力者数：16名】

2月 道具作り、子どもFD、広報活動補助、館外ワークショップ補助、

はくふだまつり&冬のやよいミュージアムワークショップ

【活動日数：9日 協力者数：20名】

3月 道具作り、子どもFD、ボランティア活動総括の会、弥生フェスティバルワークショップ

【活動日数：16日 協力者数：29名】

<ボランティア活動の内容>

翻訳ボランティア：開催要項等の英語訳等

平日ボランティア：展示室巡視、書庫整理、体験学習素材の作成等

土曜ボランティア：土器パズル等体験学習の補助

出前授業補助ボランティア：出前授業でのスタッフ補助

5. 「博物館 in school」事業－博学連携事業

(1) 小学校の団体見学受け入れ

事前に説明会を催し、また、館内案内ビデオの貸出しを行うことで事前学習の一助とした。見学をより充実したものにしてもらうため、ホームページ上に8種類のワークシートを用意し、各学校に利用を呼びかけた。見学当日には、各団体の意向に沿って学芸員が展示解説を行い、展示室での学習を支援した。

【98校 101件 入館者数：7,223名】

<堺市>東三国丘小学校、三国丘小学校、深井小学校、安井小学校、上野芝小学校、原山台小学校、浜寺昭和小学校、浜寺小学校、浅香山小学校、日置荘小学校、南八下小学校、錦西小学校、桃山台小学校、市小学校、浜寺石津小学校、竹城台東小学校、西百舌鳥小学校、庭代台小学校、福泉小学校、錦小学校

<和泉市>国府小学校、幸小学校、黒鳥小学校、光明台北小学校、青葉はつが野小学校、和気小学校、鶴山台南小学校、鶴山台北小学校、横山小学校、伯太小学校、芦部小学校、信太小学校、南横山小学校、南松尾はつが野学園

<泉大津市>楠小学校、浜小学校、上條小学校、条東小学校

<高石市>高陽小学校、取石小学校、高石小学校、羽衣小学校、清高小学校

<忠岡町>忠岡小学校、東忠岡小学校

<岸和田市>太田小学校、常磐小学校、山滝小学校

<泉佐野市>日新小学校、上之郷小学校

<泉南市>新在家東小学校、西信達小学校

<大阪市>弁天小学校、小林小学校、生野南小学校、喜連小学校、住之江小学校、遠里小野小学校、泉尾北小学校、長居小学校、喜連西小学校、福島小学校、天王寺小学校、千本小学校、上福島小学校、栄小学校、長吉小学校、喜連東小学校、松之宮小学校、墨江小学校、荻田北小学校、生野小学校、新平野西小学校、放出小学校、関目東小学校、豊仁小学校、塩草立葉小学校、矢田東小学校

<枚方市>川越小学校、殿山第二小学校、長尾小学校

<門真市>門真みらい小学校

<東大阪市>西堤小学校、意岐部小学校

<松原市>天美南小学校、松原南小学校

<八尾市>安中小学校

<和歌山県和歌山市>藤戸台小学校、西佐和小学校、有功東小学校

<和歌山県岩出市>根来小学校

<兵庫県宝塚市>高司小学校

<府立>堺聴覚支援学校、生野聴覚支援学校

<私立>仁川学院小学校、近畿大学附属小学校、関西大学初等部、和歌山朝鮮初中級学校

(2) 中学校等の団体見学受け入れ

小学校以外に中学校、その他団体を受け入れ、学芸員が展示解説等を行い、博物館における学習を支援した。 【入館者数：1,559名】

① 中学校等【5校 入館者数423名】

大阪市立蒲生中学校、大阪市立真住中学校、大阪市立木津中学校、阪南市立飯の岑中学校、大阪府立和泉支援学校（高等部）

② その他団体【29団体】

和泉市養護教諭部会、和泉市立小学校長会、古伝承を訪ねる会、一木会、社会福祉法人みきた福祉会みきた作業所、宝塚やまびこ友の会、社会福祉法人堺あけぼの福祉会絆あけぼの、大阪府高齢者大学校、別府大学、古代遊学会、シニア自然大学同好会、天理市文化センターたゆたち講座、和泉市観光ボランティア、鶴山台第一保育園・鶴山台第二保育園、JA大阪南農業歴史探検ツアー、国府第二保育園・芦部保育園、さいわいこども園・くすのき保育園、池上曾根弥生学習館、古都を歩こう会、日本セカンドライフ協会、ボーイスカウト泉南第2団カブ隊、楽炎会、和泉市立国府幼稚園、ろはすの家、社会福祉法人障友会デイセンターフレンズ、大阪YMCA学院日本語学科、田原本町ボランティアガイドの会、児童デイサービスいっば、和泉市社会福祉協議会年輪大学

(3) 小中学生団体の利用促進のため小学校教諭を対象に下見説明会を実施した。

4月4日（火）9校 【参加者：26名】 4月5日（水）5校 【参加者：10名】

(4) 体験ゾーンの活用

屋外に設置した竪穴住居の復元施設の活用を推進した。 【71団体 利用者数：4,735名】

(5) 出前授業

小学校等から依頼を受け、教育専門員および学芸員が出向いて授業を行った。 【88回 実績：2,875名】

<堺市>深井西小学校、浜寺石津小学校、土師小学校、南八下小学校、福泉東小学校

<泉大津市>旭小学校、楠小学校、戎小学校

<和泉市>国府小学校、鶴山台南小学校

<岸和田市>城東小学校

<岬町>淡輪小学校

<河内長野市>天見子ども会

<羽曳野市>西浦東小学校、古市南小学校、恵我之荘小学校、埴生小学校、埴生南小学校

<松原市>松原小学校、天美南小学校

<八尾市>大正北小学校

<大阪市>宮原小学校、塚本小学校、矢田北小学校、榎本小学校、野中小学校、加賀屋小学校、池島小学校、歌島小学校、小林小学校、弁天小学校、栄小学校、榎並小学校、東中川小学校

<池田市>呉服小学校

<枚方市>川越小学校、枚方第二小学校、菅原小学校

<守口市>錦小学校

<東大阪市>楠根東小学校

＜府立＞和泉支援学校小学部

(6) 博学連携

博物館の活動をよりよく理解してもらうため、小学校から大学までを対象に、展示解説やバックヤードツアーを行ったほか、教員を対象に博学連携セミナーを実施し、意見交換の場を設けた。

① 大学生（博物館学実習・研修等）

実習生等を受け入れ、博物館の実務などについて指導した。

6月10日(土)	桃山学院大学	【4名】
7月16日(日)	関西大学博物館	【47名】
7月19日(水)	奈良大学通信教育部	【26名】
7月25日(火)～7月29日(土)	博物館実習	【13大学18名】
8月3日(木)	大阪府庁インターンシップ	【2名】
8月18日(金)	もりや産業インターンシップ	【3名】
12月26日(火)	大阪教育大学	【27名】

② 中学生・高校生（職場体験学習等）

中学生を1～3日間受け入れ、博物館業務を体験する機会を提供した。また、高校生の入門講座・バックヤードツアー等をとおして、学習機会を提供した。

7月12日(水)	大阪府立成美高等学校	【17名】
5月12日(金)・8月3日(木)	大阪府立今宮高等学校	【39名】
8月10日(木)・16日(水)	大阪府立泉陽高等学校	【17名】
8月18日(金)	高校生のための博物館ツアー	【1名】
9月20日(水)～21日(木)	和泉市立富秋中学校	【3名】
10月19日(木)	和光高等学校	【25名】
10月19日(木)～20日(金)	高石市立取石中学校	【2名】
11月7日(火)～8日(水)	和泉市立信太中学校	【5名】
11月8日(水)～9日(木)	和泉市立石尾中学校	【6名】
11月9日(木)～10日(金)	高石市立高石中学校	【5名】
11月14日(火)～15日(水)	忠岡町立忠岡中学校	【4名】
11月15日(水)～16日(木)	和泉市立郷荘中学校	【5名】
2月15日(木)～16日(金)	高石市立高南中学校	【5名】

③ 教員等研修

教員等の研修を行い、連携を深めた。

8月17日(木)	博学連携セミナー（小中学校教諭対象）	【14名】
8月18日(金)	博学連携セミナー（高校教諭対象）	【15名】

④ 子ども一日館長

3月24日(土)	和泉市立国府小学校2名（任命式、宝べやツアー）	【30名】
----------	-------------------------	-------

⑤ 中学生フレッシュコンサート

3月24日(土)	和泉市立郷荘中学校・高石市立取石中学校	【118名】
----------	---------------------	--------

6. 「どこでも博物館」事業

(1) 出張展示

他館や他団体と連携し、当館資料やパネル等を展示した。

- ① 大阪府立狭山池博物館 【入館者数：9,765名】
開催期間 平成29年5月16日(火)～6月18日(日)
内 容 ミニ展示「弥生土器と記号文」
- ② 泉大津市池上曾根弥生学習館 【入館者数：9,588名】
開催期間 平成29年4月1日(土)～平成30年3月31日(土)
内 容 当館所蔵の資料を展示
- ③ 和泉市池上曾根弥生情報館 【入館者数：83,769名】
開催期間 平成29年4月1日(土)～平成30年3月31日(土)
内 容 当館所蔵の資料を展示
- ④ 大阪府立中央図書館 【入館者数：44,922名】
開催期間 平成29年8月22日(火)～9月18日(月祝)
内 容 『卑弥呼の時代を描こう』優秀作品展

(2) 出張体験学習

各種催しに体験学習ブース等を出展した。

- ① 小規模事業者 ふれあうフェア 【参加者数：110名】
開催日 5月4日(木祝)
内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 和泉高石民主商工会
- ② ふれあいまつり 【参加者数：106名】
開催日 5月5日(金祝)
内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 池上曾根弥生学習館
- ③ 子育て応援フェア 親子でワークショップ 【参加者数：441名】
開催日 6月3日(土)・8月12日(土)・9月16日(土)・12月27日(水)
内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」「銅鐸風鈴づくり」 大阪府住宅供給公社
- ④ 土曜れきし館ワークショップ 【参加者数：14名】
開催日 7月8日(土)
内容・連携先 「泥面子をつくろう！」 泉佐野市立歴史館いずみさの
- ⑤ ハスフェスタ 【参加者数：35名】
開催日 7月28日(金)
内容・連携先 「銅鐸風鈴をつくろう！」 泉南市埋蔵文化財センター
- ⑥ 関西大学キッズミュージアム 【参加者数：160名】
開催日 8月2日(水)
内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 関西大学博物館
- ⑦ 夏休み 自由研究ウィーク 【参加者数：49名】

- 開 催 日 8月4日(金)
 内容・提携先 「銅鐸風鈴をつくろう！」 篠山チルドレンズミュージアム
- ⑧ 「弥生博がやってくる！」 【参加者数：95名】
 開 催 日 8月6日(日)
 内容・提携先 「土器・銅鐸パズル」「考古学カードバトル」
 「弥生博のカイトとリュウさんと考古学カードバトル」 大阪府立狭山池博物館
- ⑨ きしわだ自然資料館・山の日祭り 【参加者数：23名】
 開 催 日 8月11日(金祝)
 内容・提携先 「銅鐸風鈴をつくろう！」 きしわだ自然資料館
- ⑩ 「卑弥呼の鏡をつくろう！」 【参加者数：12名】
 開 催 日 8月12日(土)
 内容・提携先 「鏡製造体験」 西宮阪急 子育てコミュニティー
- ⑪ あべの天王寺サマーキャンパス 【参加者数：19名】
 開 催 日 8月19日(土)
 内容・提携先 「銅鐸風鈴をつくろう！」 あべのハルカス近鉄本店 まなぼスタジオ
- ⑫ にぎわいマルシェ 【参加者数：30名】
 開 催 日 8月27日(日)
 内容・提携先 「銅鐸風鈴づくり」 さかい利晶の杜
- ⑬ 「卑弥呼の時代を描こう」優秀作品展関連イベント 【参加者数：97名】
 開 催 日 9月3日(日)・9月9日(土)
 内容・提携先 「土器・銅鐸パズル」 大阪府立中央図書館
- ⑭ きしわだ自然資料館ミニ実習 【参加者数：57名】
 開 催 日 9月23日(土祝)・2月12日(月祝)
 内容・提携先 「消しゴム勾玉づくり」「泥面子で遊ぼう」 きしわだ自然資料館
- ⑮ 高校軽音フェスタ in 弥生の杜 【参加者数：89名】
 開 催 日 10月14日(土)・15日(日)
 内容・提携先 「土器・銅鐸パズル」 池上曾根史跡公園
- ⑯ ～弥生時代へタイムスリップ～弥生な消しゴムづくり 【参加者数：22名】
 開 催 日 11月11日(土)
 内容・提携先 「消しゴムづくり」 TRC 和泉図書館
- ⑰ come come*はにコット 【参加者数：67名】
 開 催 日 11月26日(日)
 内容・提携先 「土器・銅鐸パズル」 高槻市今城塚古墳公園
- ⑱ はくふだまつり 【参加者数：38名】
 開 催 日 12月9日(土)
 内容・提携先 「銅鐸キャンドルをつくろう」 泉南市埋蔵文化財センター
- ⑲ れきみんカーニバル with 小さいとこネット 【参加者数：24名】

開催日 2月17日(土)
内容・提携先 「銅鐸風鈴づくり」 大東市立歴史民俗資料館

(3) 講演・講座

当館学芸員等が、各所から依頼を受け、出張講演・解説を行った。

- ① まちライブラリー 【参加者数:29名】
5月12日(金)「大阪の歴史遺産を現代に生かすー学芸員の取り組み」 当館総括学芸員 中尾智行
- ② 大阪大学大学院生涯学習講座 【参加者数:8名】
5月27日(土)「弥生時代の始まりと渡来人」 当館総括学芸員 塚本浩司
- ③ 桃山学院大学インテグレーション科目「図書館・博物館への誘い<春>」 【参加者数:48名】
6月28日(水)「博物館の現状と展望ー歴史博物館の立場ー」 当館総括学芸員 塚本浩司
- ④ 近鉄文化サロン でかける博物館講座 「倭人」の考古学
4月16日(日)「鉄と倭人」 当館館長 黒崎直 【参加者数:78名】
6月15日(木)「倭人の衣」 当館学芸員 井上知花 【参加者数:59名】
8月17日(木)「倭人の『絵画』」 当館総括学芸員 中尾智行 【参加者数:68名】
10月19日(木)「倭人とタコ」 当館総括学芸員 塚本浩司 【参加者数:55名】
12月21日(木)「後世に描かれた倭人と卑弥呼」 当館学芸員 宮寄奈美加 【参加者数:65名】
2月15日(木)「倭人の塩づくり」 当館副館長兼学芸課長 秋山浩三 【参加者数:55名】
- ⑤ 桃山学院大学博物館経営論 【参加者数:8名】
7月6日(木)「博物館におけるキャラクター活用の実践について」 当館総括学芸員 中尾智行
- ⑥ はにコット実行委員会 【参加者数:29名】
7月9日(日)「弥生時代の絵画 特別講義」 当館総括学芸員 中尾智行
- ⑦ 第22回「卑弥呼の時代を描こう」展関連講演会 【参加者数:69名】
9月18日(月祝)「最初の大阪・弥生人はどこからきたか?ー『卑弥呼の時代を描こう』を楽しむためにー」
当館副館長兼学芸課長 秋山浩三
- ⑧ 朝日カルチャーセンター中之島教室 纏向学講座 再び「大形建物」を考える 【参加者数:18名】
11月11日(土)「弥生の大形建物、そして纏向の居館へ」 当館副館長兼学芸課長 秋山浩三
- ⑨ 講演会しおんじやま学び場 【参加者数:18名】
11月11日(土)「倭人の絵画・銅鐸絵画へのアプローチ」 当館総括学芸員 中尾智行
- ⑩ 大阪府高齢者大学校「自然を楽しむ科」講義 【参加者数:44名】
1月10日(水)「古代から学ぶー古代の食ー」 当館学芸員 井上知花
- ⑪ 歴史館いずみさの平成29年度秋季企画展関連講演会 【参加者数:20名】
3月10日(土)「古代の船と漁業」 当館総括学芸員 塚本浩司

7. 「体験する博物館」事業

(1) 体験学習・ツアー

体験することにより、知的好奇心を高め、また当館により親しんでもらうため、特別展・企画展関連以外

にもワークショップ等を行った。また旅行会社と連携し、関連の遺跡を見学する考古学ツアーを実施した。

- ①「巻岐・対馬 史跡と考古の旅」 【参加者数：34名】
4月19日（水）～4月21日（金） 国際交流サービス／同行講師：当館館長 黒崎 直
- ②「神奈川 史跡と考古の旅」 【参加者数：10名】
7月5日（水）～7月7日（金） 国際交流サービス／同行講師：当館総括学芸員 塚本浩司
- ③「沖縄 史跡と考古の旅」 【参加者数：39名】
2月21日（水）～2月23日（金） 国際交流サービス／同行講師：当館総括学芸員 中尾智行
- ④ デジタルワークショップ「弥生×デジタル」 【参加者数合計：34名】
8月19日（土）・8月20日（日）・3月24日（土）・3月25日（日）
- ⑤ 夏休みフェスタ！ 【参加者数計：752名】
8月20日（日）「星形ペンダントをつくろう！」「貝器づくり！」「考古なカバンをつくろう！」
「古墳マグネット 古墳ブローチづくり！」「糸くりに挑戦！」「鉱物で遊ぼう！」
「挑戦！土器・銅鐸パズル」「弥生の弓矢体験」
- ⑥「いにし絵てがみ」制作ワークショップ 【参加者数：合計65名】
9月2日（土）講師：狩野圭以子（日本絵手紙協会公認講師）
9月10日（日）講師：倉野勝子（日本絵手紙協会公認講師）
10月28日（土）講師：楠本美知子（日本絵手紙協会公認講師）
- ⑦「関西文化の日」ワークショップ 【参加者数：合計613名】
11月18日（土）「キラキラ定規をつくろう！（大阪府住宅供給公社）」
「みんなでつくる弥生ハウス！（もりや産業株式会社・近畿大学峰滝ゼミ）」
「世界にたった一つのオリジナルシールをつくろう！（株式会社レディアント）」
「銅鐸キャンドルをつくろう！」
11月19日（日）「イライラ棒に挑戦（日本電気計器検定所）」「体験！自転車発電機（日本電気計器検定所）」
「計量クイズ（大阪府計量検定所）」「出張！お点前体験（さかい利晶の杜）」
「みんなでつくる弥生ハウス！（もりや産業株式会社・近畿大学峰滝ゼミ）」
「世界にたった一つのオリジナルシールをつくろう！（株式会社レディアント）」
「銅鐸キャンドルをつくろう！」「土器・銅鐸パズル」
- ⑧ はくふだまつり&冬のやよいミュージアム 【参加者数：計1,129名】
2月4日（日）「カラフルなストローでつくる！ネックレス（泉南市埋蔵文化財センター）」
「まゆ玉人形をつくろう（泉佐野市立歴史館いずみさの）」
「星形ペンダントをつくろう（池上曾根弥生学習館）」
「百舌鳥古墳群スタンプで絵はがきをつくろう！（堺市博物館）」
「パズルに挑戦しよう！（和泉市いずみの国歴史館）」
「『つげさん』のぬり絵をしよう！（貝塚市歴史展示館）」
「鉱物であそぼう！（きしわだ自然資料館）」
「ストロー竹とんぼをつくろう！」「大型すごろく『弥生人のナゾ』に挑戦！」
- ⑨ 古代オリエントをたのしむ!!（古代オリエント博物館） 【参加者数：60名】

2月4日(日)「ヒエログリフをたのしもう!」「古代のコインを作ってみよう!」

⑩ 弥生フェスティバル

【参加者数:合計 986名】

3月24日(土)「宝箱づくり! (小谷城郷土館)」「星形ペンダントをつくろう (池上曾根弥生学習館)」

「ねじロボをつくろう (大阪府立高等職業技術専門学校)」「弥生の弓矢体験」

「考古パズルに挑戦しよう! (和泉市いずみの国歴史館)」「挑戦! 土器・銅鐸パズル」

「発掘調査BOXであそぼう! (八尾市立しおんじやま古墳学習館)」

「マイ弓矢で狩りに行こう! (アスマイル☆)」

3月25日(日)「フェルトで鏡をつくろう! (宮田麻子)」

「カラフルなストローでネックレスをつくろう! (泉南市埋蔵文化財センター)」

「身近なものでつくる、昔のおもちゃ (泉佐野市立歴史館いずみさの)」

「ちりめんモンスターをさがそう! (きしわだ自然資料館)」

「考古パズルに挑戦! (和泉市いずみの国歴史館)」

「マイ弓矢で狩りに行こう! (アスマイル☆)」

「弥生の弓矢体験」「挑戦! 土器・銅鐸パズル」「弥生人の火おこしに挑戦!」

(2) 子どもファーストデイ企画「みんないっしょに考古楽! 2017」

大阪府・大阪府教育委員会が実施する「こころの再生」府民運動のうち、毎月第3土曜日の「子どもファーストデイ」に参加し、コミュニケーションを深めるきっかけをつくる体験学習を行った。下記の内容と「土器・銅鐸パズル」を併せて実施した。【参加者数:合計 856名】

4月15日(土)「弥生の米つき体験」、5月20日(土)「石器を使ってみよう」

6月17日(土)「弥生の弓矢体験」、7月15日(土)「鳥形紙ひこうきをつくろう」

8月19日(土)「考古学カードであそぼう(バトル)」、9月16日(土)「弥生の火おこし体験」

10月21日(土)「考古学カードで遊ぼう(バトル)」、11月18日(土)「弥生博ポスターでバッグをつくろう」、12月16日(土)「弥生の米つき体験」、1月20日(土)「石器を使ってみよう」

2月17日(土)「土器にふれてみよう」、3月17日(土)「アート勾玉をつくろう」

8. 広報普及事業

(1) 弥生フェスティバル開催

当館の存在を広くPRするとともに、地元の各種団体や他の博物館、企業と連携して楽しく学べる空間を創出することを目的として、弥生フェスティバルを実施した。堺市・和泉市・泉大津市・高石市・岸和田市・忠岡町の各教育委員会に依頼し、各市町全児童にチラシを配付した。

ア. 開催期間 平成30年3月21日(水・祝)、22日(木)、24日(土)、25日(日)、27日(火)、28日(水)

イ. 入館料 3月24日(土)~25日(日)は無料

【入館者数:3,325名】

ウ. イベント 前掲

(2) 要覧の作成

『平成28年度弥生文化博物館要覧』(平成30年3月31日発行)を作成し、関係諸機関に配付した。

(3) 特別展・企画展・その他催しのポスター等の作成・配布

ポスター、チラシ、招待券等を催しの規模に応じて作成し、広報活動に活用した。

(4) 常設展リーフレット作成

常設展示の内容を簡単に紹介したA4三折りのリーフレット（日本語・英語・中国語・韓国語／大人用・子ども用）を作成し、配付した。

(5) 小学生用見学のしおり・ワークシート

小学生が弥生文化を学習するうえで助けとなるよう、「小学生のための見学のしおり」を配付した。

また、社会見学等で来館の学校団体には、ワークシート（8種類）を用意し、ホームページからダウンロードして利用してもらえるようにした。

(6) 解説シート

常設展示の解説シート（7種）及び常設展示点字解説シート、マンガによる解説シート、外国語解説シート等を用意した。

(7) 問合せ対応

マスコミ、出版社、一般利用者等からの弥生文化を中心とする質問についての回答や、参考文献の紹介をすることで、弥生文化に関する情報を発信した。

(8) マスコミ・ミニコミへの資料提供

各種イベントごとに報道提供資料を作成し、大阪府政記者会、大阪教育記者会、堺市政記者クラブに情報を提供した。また、新聞社やテレビ局各社をはじめ情報誌、地元ミニコミ誌へも同様の資料を作成・送付し、広報への協力を依頼した。

(9) インターネットホームページ

ホームページおよびフェイスブックによる情報提供を行った。 【年間アクセス件数：303,121件】

館のマスコットキャラクターが弥生文化や当館の展示物、催し等を紹介する四コマ漫画をホームページに連載し、インターネット上で動画の配信を行った。

(10) 新聞広告等

広域広報を目的として、特別展主催者名義使用の新聞社等の紙面に特別展・企画展の広告を掲載した。

このほか新たな取り組みとして、「はくふだまつり&冬のやよいミュージアム」及び「弥生フェスティバル」の広報に際して、インターネットの親子向けお出かけ情報サイトへのターゲット広告を実施した。

9. 資料貸出

当館所蔵の資料（実物・復元・写真・映像等）を全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用するとともに、各方面へ弥生文化に関する情報を発信した。 【資料9件・135点／写真59件・145点】

10. 研究事業

大学、教育委員会等研究者との学術交流

【120名】

11. 資料製作事業

学術図書の計画的購入など、資料収集に努めた。

12. 文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館活動支援事業

つらなる・つながる歴史ミュージアム実行委員会の中核館として、「多様な連携と新しい価値を創出する歴史ミュージアム事業」を推進した。沖縄県立博物館・美術館、堺市立博物館、泉佐野市立歴史館いづみさの他の協力を得て、歴史絵てがみ（いにし絵てがみ）事業、市町村を結ぶカード型教材（はくふだ）の制作と活用連携を実施した。また、富士ゼロックス株式会社の協力により、遺跡VRによる遺跡情報及び先端映像技術による常設展示の活性化を実施した。加えて、東京大学工学系ゼミの協力を得て、デジタルコンテンツの作成ワークショップ「弥生×デジタル」を実施した。他に、館キャラコンテンツを教育現場に提供することを目的として、「歴史すごろく」を教材化し、周辺地域の小中学校に配付した。

【補助事業費：11,912,700円】

13. サービス事業

(1) アンケート調査の実施

よりよい館運営を行うため、展示室にアンケート用紙を設置したほか、講演会やコンサートでアンケート用紙を配付し、来館者の要望や展示内容の疑問などの把握に努めた。

【意見と対応】

- ・子どもが館内で体験できるプログラム等を教えて欲しい。
⇒子ども向けコンテンツを「体験して学ぶコンテンツ」と「より深く学べるコンテンツ」に分けてまとめて紹介するチラシを作成し、受付で説明・配付するようにした。
- ・催しの広報拡大。
⇒インターネットのターゲット広告を実施した。

(2) 音声ガイド

展示資料に対する理解をより深めてもらうため、日本語による音声ガイドと英語版音声ガイド及び館キャラクター・カイトとリュウさんによる日本語・英語・中国語・韓国語音声ガイド（いずれも常設展示）を用意し、無料で貸し出しを行った。

(3) 館内紹介ビデオ・DVD

主に学校団体の利用に向けて、館内ならびに体験ゾーンの紹介と見学に際しての注意を盛り込んだ映像ソフトの貸し出しを行った。

(4) 設備

施設環境の良化及び省資源化等を目的として、下記の改修等を実施した。

- ・ トイレ手洗いに排水不良がみられたため、適切に排水できるよう措置を行った。
- ・ グッズの品数増加に伴い、商品が見やすくなるよう棚を増設した。
- ・ エントランスホール天井部の照明レールを補修した。
- ・ 駐車場や敷地境界付近の高木の剪定を行った。
- ・ 展示室内の資料映像放映用機器（PC）を更新した。
- ・ 体験ゾーンに設置しているコーナーガードの損傷が著しいため、交換した。

14. 研修事業

(1) 学芸研修

①ミュージアムエデュケーター研修

文化庁が実施する美術館・博物館における教育普及を担当するために必要な専門的知識及び技能を習得する研修を、学芸課職員が受講し、その資質向上に取り組んだ。研修終了後、館職員に講習内容を周知し、共有を図った。 9月6日(水)～8日(金)、2月1日(木)～2日(金)

②文化財虫菌害防除作業に関する講習

公益財団法人文化財虫菌害研究所の文化財虫菌害防除作業に関する講習に学芸課職員が参加した。職務の遂行にあたって必要な知識を習得し、館職員に講習内容を周知し、共有をはかった。

3月6日(火)～8日(木)

(2) 人権研修

人権啓発用ソフト(教材)の視聴によって、職員の人権研修を実施した。 3月13日(火)、15日(木)

(3) 消防訓練研修

消防計画に基づいて、和泉市消防署の指導による自衛消防訓練研修を実施した。 12月27日(水)

15. 入館者数及び入館料一覧表

(平成29年度)

区 分	入館者数(名)			入館料 (円)	備 考
	有 料	無 料	合 計		
常 設 展	2,302	3,251	5,553	429,390	69日間
割合%	18.3	9.9	12.3		
ミュージアムギャラリー	1,706	9,396	11,102	369,080	56日間
割合%	13.6	28.7	24.5		
夏季特別展	4,196	7,418	11,614	1,493,540	69日間
割合%	33.4	22.6	25.6		
秋季企画展	2,147	5,113	7,260	705,150	50日間
割合%	17.1	15.6	16.0		
冬季企画展	2,218	7,594	9,812	578,790	61日間
割合%	17.6	23.2	21.6		
合 計	12,569	32,772	45,341	3,575,950	305日間
割合%	100.0	100.0	100.0		
平成28年度実績			55,041	4,713,040	305日間
平成27年度実績			64,545	5,503,100	309日間
平成26年度実績			61,041	4,955,640	303日間

(金額は税込額)

V 大阪府立近つ飛鳥博物館事業

1. 常設展示

第1ゾーンで「近つ飛鳥と国際交流」、第2ゾーンで「古代国家の源流」、第3ゾーンで「現代科学と文化遺産」のテーマで展示。

2. 特別展企画展事業

(1) 春季特別展「東国尾張とヤマト王権—考古学からみた狗奴国と尾張連氏—」

【総入館者数 21,178名・特別展入館者数：8,500名・展示室 170名/日】

ア. 開催趣旨 東海は、南北に長い列島において地理的にも文化的にも太平洋側の結節点となってきた地域である。なかでも、美濃、尾張はさまざまな時代に歴史的に重要な役割を演じてきた。今回の展覧会では、古墳時代の歴史的な流れの中で伊勢湾岸地域の古墳や遺跡を通して、この地域がヤマト王権とどのようにかかわり、歴史を紡いできたのかをとりあげた。

イ. 開催期間 平成29年4月22日(土)～6月18日(日) 【会期：50日間】

ウ. 特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 図録の詳細は2(6)参照

エ. 講演会等 開催に際し、展示に即した講演会およびシンポジウムを実施した。

講演会

- ・5月14日(日)「2・3世紀の東海とヤマト王権の誕生」赤塚次郎

(特定非営利活動法人 古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク理事長) 【241名】

- ・5月21日(日)「文献からみたヤマト王権と尾張」仁藤敦史(国立歴史民俗博物館教授)【221名】

- ・6月4日(日)「継体政権とその勢力基盤」福永伸哉(大阪大学大学院教授)【355名】

- ・6月11日(日)「考古学からみた狗奴国と邪馬台国」白石太一郎(当館館長)【418名】

ミニシンポジウム

- ・5月7日(日)『古代豪族の社会基盤と盛衰』 【247名】

「尾張氏の登場とその後の地域社会」藤井康隆(名古屋市博物館主任学芸員)

「大和の豪族の支配基盤とその盛衰」市村慎太郎(当館総括学芸員)

討論司会/廣瀬時習(当館総括学芸員)

オ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。 【5回・計177名】

実施日：4月30日(日)、5月6日(土)、5月20日(土)、5月28日(日)、6月17日(土)

カ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. 現地見学会 6月3日(土)、6月13日(火)

「五ヶ庄二子塚古墳と宇治の古墳—継体政権の古墳を訪ねて」

【88名】

ク. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPRやポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動を行った。

ケ. 開会式 4月22日(土) 地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待し実施した。

コ. 主催：本館

後援：河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、羽曳野市、羽曳野市教育委員会、

百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議 近畿日本鉄道株式会社 朝日新聞社

(2) 夏季企画展「百舌鳥・古市古墳群を世界遺産に！—この夏、きみは古墳を知る—」

【総入館者数 14,233名・企画展入館者数：5,542名・展示室 111名/日】

ア. 開催趣旨 世界文化遺産登録を目指し、様々な活動が進められている百舌鳥・古市古墳群では、古くからの調査研究の歴史に加え、近年の史跡整備に伴う発掘調査成果の蓄積からは、さまざまな新知見が得られている。今回の企画展では最新の調査、研究の成果を取り上げるとともに、世界文化遺産登録に向けた様々な活動を紹介した。

イ. 開催期間 平成29年7月15日(土)～9月10日(日) 【会期：50日間】

ウ. もずふるカードの作成・配布、ポスター・ちらし・招待券の作成・配布

エ. 講演会・調査成果報告会・体験学習

展示に即した講演会、調査成果報告会を実施した。また百舌鳥・古市古墳群関連団体で連携し、ワークショップを実施した。

講演会

・7月23日(日)「お濠の水は誰のもの—仁徳天皇陵の景観形成—」

徳田誠志(宮内庁書陵部陵墓調査官) 【150名】

・8月6日(日)「百舌鳥・古市古墳群が語るもの」 白石太一郎(当館館長) 【182名】

調査成果報告会『百舌鳥・古市古墳群の最新調査成果報告』

・9月3日(日) 【157名】

「ニサンザイ古墳の調査」内本勝彦(堺市文化財課)

「応神天皇陵古墳陪冢・東山古墳の調査」松田崇裕(藤井寺市教育委員会)

「古市古墳群の調査—赤面山古墳と松川塚古墳—」新開義夫(藤井寺市教育委員会)

ワークショップ

・7月29日(土)『もずふる教室 in 近つ飛鳥博物館』 【150名】

・8月27日(日)『親子で学ぶ百舌鳥・古市古墳群』 【66名】

「昔の地図で古墳群をめぐるみよう」堀 雅洋(関西大学総合情報学部教授)

「百舌鳥・古市古墳群を楽しもう」山田幸弘(藤井寺市世界遺産登録推進室長)

オ. 展示解説 特別展示室において当館学芸員による展示解説を実施した。 【5回・計87名】

実施日：7月15日(土)、7月29日(土)、8月19日(土)、9月2日(土)、9月10日(日)

カ. 音声ガイドによる展示解説 企画展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPR
やポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

ク. 主催：本館

後援・協力：百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議

後援：堺市、羽曳野市、羽曳野市教育委員会、藤井寺市、藤井寺市教育委員会、河南町、河南町
教育委員会、太子町、太子町教育委員会、富田林市、富田林市教育委員会、近畿日本鉄道
株式会社

協力：堺市博物館

(3) 秋季特別展「古墳出現期の筑紫・吉備・畿内－2・3世紀の社会と経済－」

【総入館者数 19,801名・特展入館者数：6,388名・展示室 128名/日】

ア. 開催趣旨 古墳時代がどのようにはじまったのか。なぜ奈良盆地に最古の大型前方後円墳が出現したのか。この重要な課題については、これまで古墳の動向を中心にさまざまな研究が進められてきたが、いまなお、不明な点も多く残されている。今回の特別展では、近年の発掘調査成果がしめす社会経済的な視点から、ヤマト王権出現の背景について改めて検討を加え、古墳時代の始まりについて考えた。

イ. 開催期間 平成 29 年 9 月 30 日（土）～11 月 26 日（日） 【会期：50 日間】

ウ. 特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 図録の詳細は 2 (6) 参照

エ. 講演会等 開催に際し、展示に即した講演会およびミニシンポジウムを実施した。

講演会

・10月29日（日）「中国鏡からみた倭王権の成立」

岡村秀典（京都大学人文科学研究所教授） 【87名】

・11月5日（日）「倭王権はなぜ畿内に成立したか」 白石太一郎（当館館長） 【310名】

・11月26日（日）「ヤマト王権の成立と土器の移動」

森岡秀人（関西大学大学院非常勤講師） 【165名】

ミニシンポジウム

・10月15日（日）『古墳出現に至る吉備と畿内の交流』 【185名】

「集落・墳墓からみた古墳出現期前後の吉備社会」

河合 忍（岡山県古代吉備文化財センター主任）

「畿内からみた古墳出現期の社会」 廣瀬 時習（当館総括学芸員）

討論司会／市村慎太郎（当館総括学芸員）

オ. 展示解説 特別展示室において当館学芸員による展示解説を実施した。 【6回・計100名】

実施日：10月7日（土）、10月21日（土）、11月4日（土）、

11月12日(日)、11月23日(木・祝)

カ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. 現地見学会 10月22日(日)「脇本から纏向をめぐる」(台風のため短縮) 【4名】

ク. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPR
やポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

ケ. 開会式 9月30日(土) 地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待し実施した。

コ. 主催：本館、産経新聞社

後援：福岡県教育委員会、岡山県教育委員会、太子町、太子町教育委員会、河南町、河南町教育
委員会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、近畿日本鉄道株式会社

(4) 冬季特別展「慈雲生誕300年記念 慈雲尊者と高貴寺—いつくしみの書とその教え—」

【総入館者数 17,030名・特展入館者数：6,129名・展示室 123名/日】

ア. 開催趣旨 慈雲尊者(1718~1804)は江戸時代後期、京都や大阪で活躍した高僧である。真言、
禅、梵語、儒学、神道などを広く学び、釈迦の仏道の原点に戻ることをめざした「正
法律」を唱え、河南町の高貴寺を本山とした。今回の特別展では慈雲生誕300年を
記念し、慈雲の残した書を中心にゆかりの品々を展示し、慈雲の教えと人となりを
紹介した。

イ. 開催期間 平成30年1月20日(土)~3月18日(日) 【会期：50日間】

ウ. ポスター・ちらし・招待券の作成配布

エ. 講演会・ワークショップ 開催に際し、展示に即した講演会、ワークショップを実施した。

講演会

・1月28日(日)「慈雲尊者の書とその教え」 杉本欣久(黒川古文化研究所研究員) 【155名】

・2月11日(日)「慈雲尊者と《如法》のかたち—高貴寺伝来の仏教工芸—」

児島大輔(大阪市立美術館学芸員) 【117名】

・2月25日(日)「慈雲尊者と臨済宗」村上宗博(臨済宗南禅寺派福井県円照寺住職) 【108名】

ワークショップ

・2月12日(月・祝)『想いを書にしたためよう』前田弘観(高貴寺住職) 【219名】

オ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

カ. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPR
やポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

キ. 主催：慈雲生誕300年記念展実行委員会

(高貴寺、黒川古文化研究所、大阪府立近つ飛鳥博物館、河南町・河南町教育委員会)

後援：太子町、太子町教育委員会、富田林市、富田林市教育委員会、近畿日本鉄道株式会社

(5) スポット展示

近隣市の調査研究成果の一部を、常設展示室において公開した。【1回 77日・計 5,952名】

・開催期間 平成 29 年 11 月 28 日（火）～平成 30 年 3 月 7 日（水）

「ちいさな煌のふるさとー廿山南古墳の重層ガラス玉ー」 【会期 77 日・5,952 名・77 名/日】

(6) 出版事業

展示資料の解説や展示内容の理解を深めるため、特別展図録等を発行し、関係機関等に配付した。

・『東国尾張とヤマト王権ー考古学からみた狗奴国・尾張連氏ー』大阪府立近つ飛鳥博物館図録 72
4 月 22 日発行

・『古墳出現期の筑紫・吉備・畿内ー2・3 世紀の社会と経済ー』大阪府立近つ飛鳥博物館図録 73
9 月 30 日発行

3. 講演会事業

(1) 安藤忠雄氏講演会「挑戦」の開催

3 月 3 日（土）、うめまつりの一環として、近つ飛鳥梅いっぱい委員会主催、安藤忠雄氏講演会を、本館ホールを会場に開催した。【475 名】

(2) 近つ飛鳥常設展示解説（入門講座）・土曜講座（オーサカ発 調査研究最前線）

「入門講座」は、常設展示の各コーナーを対象にした講座をホールにて行い、展示内容をより理解していただく機会を作った。「土曜講座」は最新発掘調査や研究を知る機会として開催した。

ア. 入門講座「もっと知りたい『ちかつ博』」

毎月第 2 土曜日を基本とし、常設展示室の内容に関わる基礎的な講座を当館学芸員が行った。目標をこえる計 12 回を実施した。【12 回・計 377 名】

- ・第 106 回 4 月 8 日（土）「筒形銅器と巴形銅器」森本 徹
- ・第 107 回 5 月 13 日（土）「土器の産地の探り方」市村慎太郎
- ・第 108 回 6 月 10 日（土）「古墳時代の塩づくり」廣瀬時習
- ・第 109 回 7 月 8 日（土）「豪族の住まいと民衆の邑」小野寺洋介
- ・第 110 回 8 月 12 日（土）「馬具はどのように副葬されたか」森本 徹
- ・第 111 回 9 月 9 日（土）「埴輪の種類と用途」廣瀬時習
- ・第 112 回 10 月 14 日（土）「近つ飛鳥の由来」森本 徹
- ・第 113 回 11 月 11 日（土）「埴輪に表現された動物たち」近藤真世
- ・第 114 回 12 月 9 日（土）「文字の入った刀剣のみかた」小野寺洋介
- ・第 115 回 1 月 13 日（土）「中期古墳の副葬鏡」市村慎太郎
- ・第 116 回 2 月 10 日（土）「装飾須恵器とは何か」廣瀬時習
- ・第 117 回 3 月 10 日（土）「古墳の埋葬施設」森本 徹

イ. 土曜講座

毎月第4土曜日を基本とし、目標を超える計12回を実施した。

【12回・計636名】

- ・第97回 4月22日(土)「猿投窯と陶邑窯」小野寺洋介(当館学芸員)
- ・第98回 5月27日(土)「ヤマト王権と地域社会の形成」廣瀬時習(当館総括学芸員)
- ・第99回 6月24日(土)「継体大王の宮を考える」森本 徹(当館副館長兼学芸課長)
- ・第100回 7月22日(土)「古墳出現前後の年代」市村慎太郎(当館総括学芸員)
- ・第101回 8月26日(土)「墳丘築造企画からみた前方後円墳」小野寺洋介(当館学芸員)
- ・第102回 9月23日(土)「朝鮮半島の前方後円形墳を考える」森本 徹(当館副館長兼学芸課長)
- ・第103回 10月28日(土)「庄内形甕の地域型」市村慎太郎(当館総括学芸員)
- ・第104回 11月25日(土)「農業生産力と古墳の出現」森本 徹(当館副館長兼学芸課長)
- ・第105回 12月23日(土)「絵画史からみた装飾古墳」近藤真世(当館学芸員)
- ・第106回 1月27日(土)「土製模造品からみる墳丘上での儀礼」小野寺洋介(当館学芸員)
- ・第107回 2月24日(土)「後期古墳の玉とその副葬」廣瀬時習(当館総括学芸員)
- ・第108回 3月24日(土)「一須賀古墳群の被葬者像」森本 徹(当館副館長兼学芸課長)

(3) 博物館共催かなん文化財講座

博物館の所在する河南町教育委員会と連携し、博物館学芸員、河南町教育委員会職員を講師に、地域の歴史を深く学ぶ連続講座を行った。

【7回・のべ参加者数151名】

- ・第1回 7月19日(水)「平石古墳群と南河内の終末期古墳」
- ・第2回 9月20日(水)「羽曳野の終末期古墳と古代寺院(現地見学)」
- ・第3回 10月18日(水)「南河内の瓦と古代寺院」
- ・第4回 11月15日(水)「寛弘寺周辺の古墳と石造物(現地見学)」
- ・第5回 12月20日(水)「南河内の中世山城」
- ・第6回 1月28日(日)「慈雲尊者の書とその教え」
- ・第7回 2月21日(水)「学習交流会」

4. 「府民が参加する博物館」事業

(1) 古墳の森コンサート

博物館屋上階段広場に特設ステージを設け、地元高校生による音楽会を開催した。親しみある博物館・風土記の丘にふれ合う場をめざし、展示の観覧を促した。地元高校生の軽音楽部、フォークソング部などの発表、他学校との交流の場とした。春季、秋季の計2回開催した。

- ・4月29日(土・祝) 府立松原高等学校、府立河南高等学校、初芝富田林高等学校、府立藤井寺高等学校、府立金剛高等学校、府立長野高等学校 【6校・411名】
- ・11月3日(金・祝) 府立生野高等学校・府立河南高等学校・府立富田林高等学校・府立長野高

(2) 風土記の丘古墳時代まつり「春の風土記の丘であそぼう」

5月3日(水・祝)、博物館周辺にひろがる豊かな自然を持つ風土記の丘を積極的に活用する事業として、ウォークラリーをはじめ、勾玉づくり・森の工作・修羅引き体験・古代衣裳着用体験などを開催した。 【268名】

(3) 博物館バックヤード探検ツアー

博物館をより親しみが持てるよう、博物館の仕組みの説明や、普段公開しない収蔵庫などの博物館のバックヤードを観察する見学会を実施した。

・5月4日(木・祝)【31名】、7月30日(日)【23名】、8月6日(日)【31名】、8月20日(日)【39名】

(4) こども近つ飛鳥風土記の丘古墳探検ツアー

小中学生および保護者を対象に、近つ飛鳥風土記の丘の一須賀古墳群を見学する探検ツアーを実施した。

・5月5日(金・祝) 【参加者20名】

(5) 近つ飛鳥ギャラリー

地階広場、1階ロビーの空間を活用し、府民の文化活動を支援した。生涯学習の発表の場として、絵画・写真等の展示スペースを提供した。 【14回・計：71,127名】

- ・3月22日(水)～4月2日(日)「太子町切り絵サークル作品展」
- ・4月5日(水)～4月20日(木)「一閑張・刺し子作品展」
- ・4月21日(金)～5月11日(木)「第9回ふるさと俳画展」
- ・5月16日(火)～5月26日(金)「太子町水彩画クラブ作品展」
- ・7月12日(水)～7月26日(水)「猫の手借りまし展」
- ・7月29日(土)～8月27日(日)「2017年夏休み 児童はにわ展」
- ・8月31日(木)～10月4日(水)「堺アルフォンス・ミュシャ館紹介展」
- ・10月5日(木)～10月15日(日)「古墳に係わる色紙展」
- ・10月17日(火)～10月28日(土)「よつばの会 油画作品展」
- ・11月14日(火)～11月19日(日)「MOA美術館南河内児童作品展」
- ・11月1日(水)～11月12日(日)「河南町・太子町立小学校6年生による児童はにわ展」
- ・1月17日(水)～2月12日(月・祝)「1,300年の時を超えて―竹原井頓宮」
- ・2月20日(火)～3月18日(日)「Konokono ART展」
- ・3月21日(水・祝)～4月11日(水)「HOMETOWN TONDABAYASHI」

(6) ボランティアの活用・募集、観光ボランティアへの支援

継続してボランティアを募集し、講演会・体験学習などの事業への支援活動を行っていただいた。実施内容としては、さくらまつり・こどもファーストデイ・特別展開会式およびボランティア会議・古墳時代まつり・古代衣裳体験・講演会・れきしウォーク・博物館バックヤード探検ツアー・こども工作室などがある。 【登録 18 名・協力のべ人数 94 名】

(7) その他の事業

ア. うめまつりの開催

3月2日(金)～3月4日(日)実施。講演会などを開催。 【期間中総入館者 3,205 名】

講演会 3月3日(土) 「挑戦」安藤忠雄氏 【475 名】

イ. さくらまつりの開催

3月31日(土)～4月1日(日)実施。ポスターでペーパーバッグをつくろう【80名】、古代衣裳着用体験【97名】などを実施。 【3月31日入館者 2,513名、期間合計 5,126名】

ウ. 近つ飛鳥ギャラリー関連講演会の開催

1月21日(日)「竹原井離宮と由義宮」(柏原市民歴史クラブ共催)

安村俊史 (柏原市立歴史資料館館長) 【76 名】

5. 「博物館 in school」事業—博学連携事業

(1) 小学校の団体見学受け入れ

事前に教員の下見を随時実施し、ワークシートなどの解説を行うことにより事前学習の一助とした。また、見学当日には、学芸員によるガイダンスを行うとともに、各種の体験学習を実施した。

【23校 23件 入館者数:1,749名】

<大阪市>府立東住吉支援学校

<富田林市>喜志小学校、東条小学校、大伴小学校、向陽台小学校

<千早赤阪村>千早小吹台小学校、赤阪小学校

<松原市>天美小学校、松原東小学校

<柏原市>堅下北小学校

<枚方市>中宮小学校

<四條畷市>四條畷東小学校

<堺市>登美丘西小学校、八田荘西小学校、上神谷小学校、金岡小学校、黒山小学校

<岸和田市>山直北小学校

<奈良県斑鳩町>斑鳩小学校

<奈良県御所市>葛城小学校

<奈良県香芝市>真美ヶ丘東小学校

＜和歌山県海南市＞巽小学校

＜兵庫県伊丹市＞鴻池小学校

(2) 高等学校、中学校等の見学受け入れ

【5校 5件 入館者数：455名】

高等学校 ＜府立＞八尾支援学校

＜私立＞八幡中央高校（北九州市）

中学校 ＜私立＞田園調布学園中等部、大谷中学校、関西大倉中学校

(3) 出前授業

小学校、中学校、高等学校に学芸員が出向き、ワークショップ（体験学習）を通じて、古墳・飛鳥文化の理解に努め、館に親しみをもってもらい、また、体験学習で制作した作品を博物館内に展示する機会を設け、来館を促した。大学には博物館実習等の一環として出張講座を行った。

ア. 小学校

【78回 実績：3,247名】

＜河南町＞近つ飛鳥小学校、中村小学校、河内小学校、白木小学校

＜太子町＞磯長小学校、山田小学校

＜羽曳野市＞埴生南小学校

＜藤井寺市＞藤井寺西小学校

＜富田林市＞大伴小学校、向陽台小学校、喜志小学校

＜河内長野市＞川上小学校

＜千早赤阪村＞赤坂小学校

＜柏原市＞柏原小学校

＜大阪市＞依羅小学校、桃陽小学校、焼野小学校、今川小学校、成育小学校、柏里小学校、関目東小学校、南港光小学校、太子橋小学校、九条東小学校、南百済小学校、西船場小学校、本田小学校、巽南小学校、菅原小学校、堀川小学校

＜枚方市＞明倫小学校、樟葉北小学校、伊加賀小学校、交北小学校

＜東大阪市＞長瀬東小学校

＜八尾市＞高美南小学校、亀井小学校

＜堺市＞津久野小学校、黒山小学校、神石小学校、竹城台小学校、日置荘小学校

＜岸和田市＞城東小学校

＜貝塚市＞二色小学校

＜箕面市＞北小学校

＜高槻市＞清水小学校

＜奈良県御所市＞秋津小学校

＜兵庫県伊丹市＞鴻池小学校

イ. 中学校、高等学校、大学

【8回 実績：319名】

(4) 学校団体利用案内の作成

学校団体が来館する際の利用手引を作成し、利用を促した。また、近隣関連施設とも含めたコースの提案もすすめた。

(5) 教員の研修、研究団体の受け入れ

教員や研究団体等の研修を博物館で行うように誘致し、連携を深めた。教員研修では学校教育での博物館施設の活用連携を深めた。 【1件 計16名】

10月31日(火) 国際協力機構研修 博物館とコミュニティー開発コース

(6) 学習用ワークシートの作成

博物館での児童生徒の学習意欲を促し、展示に対する興味を喚起するためにワークシートを作成した。「近頃の楽しみ方・指令書・お魚さがそう・おしゃれな古代人・展示キットで遊ぼう・風土記の丘ラリーカード」 【計6種】

(7) 大学生博物館学実習および芸術大学実習・高校生学習

各大学から学芸員課程の履修学生を受け入れ、博物館学実習を行った。関西大学総合情報学部、大阪芸術大学の工芸学科、文芸学科、放送学科の実習の場として博物館、風土記の丘の利用を支援し、また高校生の研修の場とした。 【29件 計527名】

4月7日(金) 大阪芸術大学 文芸学科フレッシュマンキャンプ

5月10日(水) 関西大学 総合情報学部実習

5月25日(木) 大阪芸術大学 文芸学科 製作実習

5月31日(水) 関西大学 総合情報学部実習

6月3日(土) 大阪大谷大学歴史文化学科 見学実習

6月3日(土) 大阪芸術大学 文芸学科 製作実習

6月27日(火) 大阪芸術大学 放送学科 実習

7月12日(水) 関西大学 総合情報学部実習

7月20日(木) 奈良大学 通信教育部 博物館実習

7月22日(土) 大阪芸術大学 文芸学科 製作実習

8月4日(金) 大阪府立今宮高校 夏季集中講座「考古学入門」

8月10日(木) 関西大学 総合情報学部実習

8月9日(水)～13日(日) 博物館実習

8月29日(火)～9月5日(火) 大阪大谷大学 歴史文化学科 測量実習

9月1日(金) 関西大学 総合情報学部実習

9月8日(金) 関西大学 総合情報学部実習

9月21日(木) 大阪芸術大学 工芸学科 実習

10月4日(水) 関西大学 総合情報学部実習

10月5日(木) 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科「里地里山管理学実習」
10月8日(日) 近畿大学 博物館学講座
10月8日(日) 奈良大学 博物館学講座
10月22日(日) 奈良大学 博物館学講座
11月1日(水) 関西大学 総合情報学部実習
11月15日(水) 関西大学 総合情報学部実習
12月7日(木) 大手前高校 「集中セミナー」
12月20日(水) 関西大学 総合情報学部実習
1月17日(水) 関西大学 総合情報学部実習
1月18日(木) 大阪芸術大学 文芸学科 製作実習
1月27日(土) 大阪芸術大学 デザイン学科 製作実習

(8) 大学生・高校生・中学生の職場体験学習

高校生・中学生を受け入れて、博物館事業運営の体験学習を実施し、将来の職業選択の参考とする体験を支援した。 【4件 計21名】

8月17日(木) 文化財保護課インターンシップ
10月31日(火) 河南町立中学校 職業体験
11月9日(木)～10日(金) 富田林市立喜志中学校 職業体験
11月9日(木)～10日(金) 太子町立中学校 職業体験

(9) 一日館長の選定

地元住民、特に児童に対して、地元の文化財や大阪府の古墳・飛鳥文化の理解に努める一環として、児童による一日館長を任命した。博物館に親しみをもってもらい、利用活用を促す機会とした。河南町立近つ飛鳥小学校の6年生徒2名を選定。8月6日(日)に就任式を行い、白石館長講演会の開会挨拶、児童はにわ展表彰式の記念品贈呈、博物館探検ツアー隊長などの業務に従事した。

(10) 2017 夏休み児童はにわ展、河南町・太子町立小学校6年生児童による児童はにわ展

夏休み期間の近つ飛鳥ギャラリーで、出前授業で行った28校の埴輪づくりの作品展を実施した。優秀作品に「館長賞」「古墳の埴輪賞」「平成の埴輪賞」「ホッとユーモア賞」を選定し、8月6日(日)に表彰式を実施した。

会期 7月29日(土)～8月27日(日) 【11,019名】

また、地域連携を兼ねて、河南町、太子町の全小学校6校で埴輪づくりの出前授業を実施し、その作品展を実施した。優秀作品に「館長賞」「古墳の埴輪賞」「平成の埴輪賞」「ホッとユーモア賞」を選定した。

会期 11月1日(水)～11月12日(日) 【4,820名】

(11) 地元大学との連携

大阪芸術大学による地域連携、産学連携事業の一環として、デザイン学科によるミュージアムグッズの開発課題を受け入れたほか、文芸学科、放送学科、工芸学科による実習の場として博物館の利用を促進した。また地元行事であるかなんフェスにおいて、アートサイエンス学科によるプロジェクションマッピングに実演の場を提供した。

6. 「どこでも博物館」事業

(1) れきしウォーク（現地見学会）

学芸員が実地での遺跡見学会を実施し、古墳を中心とした歴史遺産の現状を紹介するとともに、来館の機会を促した。各特別展関連行事に加え、定例行事として定期的開催した。

- ・4月9日（日）「菅田御廟山古墳と陪冢をめぐる」 【参加人数：30名】
- ・6月3日（土）「五ヶ庄二子塚古墳と宇治の古墳」① 【参加人数：49名】
- ・6月13日（火）「五ヶ庄二子塚古墳と宇治の古墳」② 【参加人数：14名】
- ・9月17日（日）「寝屋川の古墳をめぐる」 【参加人数：20名】
- ・10月22日（日）「脇本から纏向をめぐる」 【参加人数：4名】
- ・12月17日（日）「長尾山麓の古墳をめぐる」 【参加人数：53名】
- ・3月11日（日）「百舌鳥三陵をめぐる」 【参加人数：44名】

(2) 出張講座

公民館・図書館等へ学芸員が出向き、講演や体験学習を実施し、古墳・飛鳥文化の理解に努め、成人の生涯学習を支援した。また、来館の機会を促した。

①出張講座（当館学芸員・客員学芸員）

- ・4月15日（土）朝日カルチャー歴史散歩「長岡京市の文化財をめぐる」玉井 功 【14名】
- ・4月24日（月）朝日カルチャー考古学を楽しむ
「古墳の変遷について①——墳形と外部施設」玉井 功 【5名】
- ・5月20日（土）朝日カルチャー歴史散歩「葛城氏の足跡をたどる」玉井 功 【15名】
- ・5月29日（月）朝日カルチャー考古学を楽しむ
「古墳の変遷について②——埋葬施設など」玉井 功 【5名】
- ・6月10日（土）緑水苑ウォーク歴史探訪「橘諸兄の痕跡を訪ねる」玉井 功 【15名】
- ・6月17日（土）朝日カルチャー歴史散歩「河内大塚山古墳とその周辺を廻る」玉井 功 【16名】
- ・6月26日（月）朝日カルチャー考古学を楽しむ
「古墳に副葬された椅子形製品から葬送儀礼を考える」玉井 功 【5名】
- ・7月9日（日）NPO 法人フィールドミュージアムトーク史遊会
「巨椋池周辺の古墳をめぐる」廣瀬時習 【33名】

- ・7月15日(土) 朝日カルチャー歴史散歩
「天皇の杜古墳と八角形の塔を持つ白鳳寺院」玉井 功 【14名】
- ・8月19日(土) 朝日カルチャー考古学を楽しむ
「副葬品から葬送儀礼を考える」玉井 功 【20名】
- ・9月9日(土) 祿水苑ウォーク歴史探訪「高取城下とキトラ古墳を訪ねる」玉井 功 【15名】
- ・9月16日(土) 朝日カルチャー歴史散歩
「5世紀の屋敷山古墳と飯豊陵周辺をめぐる」玉井 功 【8名】
- ・10月14日(土) 祿水苑ウォーク歴史探訪
「世界遺産をめざす百舌鳥古墳群をめぐる」玉井 功 【15名】
- ・10月21日(土) 朝日カルチャー歴史散歩「埋もれた古墳と源信の里を訪ねる」玉井 功 【12名】
- ・11月18日(土) 朝日カルチャー歴史散歩
「弥生時代集落とサイトミュージアムを見る」玉井 功 【14名】
- ・12月16日(土) 朝日カルチャー歴史散歩「秦氏の本貫地を訪ねる」玉井 功 【14名】
- ・1月20日(土) 朝日カルチャー歴史散歩「京都大仏方広寺と禅寺東福寺を廻る」玉井 功 【11名】
- ・1月28日(日) 金剛葛城ネット共同事業シンポジウム
「5・6世紀の葛城と交通路ー葛城・宇智・河内ー」廣瀬時習 【124名】
- ・2月17日(土) 朝日カルチャー歴史散歩
「馬見丘陵南端の古墳群と高田御坊の石棺を見る」玉井 功 【12名】
- ・3月10日(土) 祿水苑ウォークー歴史探訪ー
「5世紀の雄 葛城・巨勢の地を巡る」玉井 功 【13名】
- ・3月17日(土) 朝日カルチャー歴史散歩「松岳山古墳から田辺廃寺へ」玉井 功 【12名】
- ・3月26日(月) 朝日カルチャー歴史散歩「大王墓から天皇陵へ」玉井 功 【18名】
- ②でかける博物館講演会 in りそな銀行本店 【499名】
2月25日(日) 『百舌鳥古市古墳群の時代ー考古学と文献史学からー』
「4・5世紀の倭国と東アジア世界」鈴木靖民(横浜市歴史博物館館長 國學院大學名誉教授)
「百舌鳥・古市古墳群出現の意味するもの」白石太一郎(当館館長)
- ③でかける博物館講座『古墳が語る古代史』(近鉄文化サロン共催)
・5月18日(木) 「古墳時代の武器・武具と戦争」森本 徹(当館副館長兼学芸課長) 【75名】
・7月20日(木) 「被葬者を囲う石製品」小野寺洋介(当館学芸員) 【76名】
・9月21日(木) 「稲荷山鉄剣の語るもの」白石太一郎(当館館長) 【106名】
・11月16日(木) 「装身具からみた古墳副葬品」廣瀬時習(当館総括学芸員) 【75名】
・1月18日(木) 「倭人の好んだ鏡ー三角縁神獸鏡」市村慎太郎(当館総括学芸員) 【93名】
・3月15日(木) 「倭人の好んだ鏡ー倭の五王の鏡」森本 徹(当館副館長兼学芸課長) 【99名】

(3) 出張ワークショップ

① 公的機関・組織

- ・7月8日(土) 高辺台小学校PTA「埴輪づくり」 [27名]
- ・7月8日(土) 大阪府住宅供給公社 子育て応援フェア親子でワークショップ [82名]
- ・7月16日(日) 堺都市緑化センター「目指せ世界遺産! はにわづくり体験」 [30名]
- ・7月22日(土) エコイベント2017~Lets Try! エコアクション~「古代衣裳体験」 [30名]
- ・7月23日(日) エコイベント2017~Lets Try! エコアクション~「古代衣裳体験」 [20名]
- ・7月28日(金) 島本町青少年人権教育事業「親子で勾玉づくり体験!」 [94名]
- ・8月18日(金) 大阪府住宅供給公社 子育て応援フェア親子でワークショップ [120名]
- ・8月24日(木) 堺市博物館 「博物館で体験しよう」ワークショップ [46名]
- ・11月1日(水) 島本町放課後こども教室「勾玉づくり」 [72名]
- ・11月25日(土) 島本町青少年人権教育事業「親子で勾玉づくり体験!」 [46名]
- ・1月13日(土) 古墳DEるるる~知る・見る・食べる~「古代衣裳体験」 [40名]
- ・1月27日(土) めざせ、大阪初の世界文化遺産「もず・ふるいち古墳群」 [74名]
- ・1月28日(日) めざせ、大阪初の世界文化遺産「もず・ふるいち古墳群」 [95名]
- ・3月22日(木) 聖和台子ども会「ものづくり教室」 [70名]
- ・3月24日(土) 大阪府住宅供給公社 子育て応援フェア親子でワークショップ [32名]

② 民間

- ・7月2日(日) あべのハルカス まなぼスタジオ 夏のこどもチャレンジ
「はにわ貯金箱を造ろう」 [17名]
- ・7月29日(土) 道明寺天満宮 宮小屋「土師氏のお話とはにわづくり」 [19名]
- ・8月16日(水) 阪急西宮 コトコトステージ「勾玉づくり」 [32名]
- ・8月20日(日) 近鉄文化サロン 夏のこどもチャレンジ
「がらがら抽選機を作って古代を学ぼう」 [37名]

(4) 出張展示

実物資料や写真パネル等、館外での出張展示を行った。歴史教育の一助とするとともに、当館の認知度アップにもつなげた。

3月9日(木)~6月6日(火) 国立民族学博物館

開館40周年記念特別展「ピース 一つなぐ・かざる・みせる」 [51,951名(4~6月分)]

5月16日(火)~6月18日(日) 大阪府立狭山池博物館

「古墳出土品の復原とその技術」 [9,765名]

(5) 地元市町村との連携

地元市町村や自治会等の文化祭などの催しへ積極的に参加した。

- ・7月14日(金)平成29年度太子町青色防犯パトロール隊全体会議 【30名】
- ・10月22日(日)大宝まつり 勾玉作り 【100名】
- ・11月2日(木)～3日(金・祝)平成29年「第15回 秋の文化祭典」 【1,500名】
- ・11月19日(日)かなんフェス「ウォークラリー」 【157名】

7. 「体験する博物館」事業

(1) 夏季企画展関連行事 もずふる教室 in 近つ飛鳥博物館

夏季企画展の内容に関連し、堺市博物館をはじめとする百舌鳥・古市古墳群関連諸機関と連携し、マグネットづくり、土器パズル、缶バッジづくり、絵葉書づくり、アプリ体験などのワークショップを開催した。

- ・7月29日(土) 【150名】

(2) 夏休み子ども工作室

小中学生を中心として、その保護者と共に、古墳時代にかかわるものを、リサイクル品などさまざまな素材を用いて作る工作室を開催した。

- ・8月13日(日) 【126名】

(3) こども勾玉づくり工房

小中学生とその保護者を対象にして、勾玉づくりを行った。

- ・7月17日(月・祝)【31名】、8月5日(土)【32名】、8月26日(土)【13名】

(4) 古代衣裳着用体験

文化庁の平成22年度地域伝統文化総合活性化事業において作製した古墳時代・古代の復元衣裳を活用し、来館者および出張展示で着用体験していただいた。

- ・5月3日(水・祝)古墳時代まつり 当館 【43名】
- ・5月5日(金・祝)当館 【31名】
- ・1月13日(土)古墳DEるるる～知る・見る・食べる～・もずふるコレクション 【40名】
- ・3月31日(土)さくらまつり 当館 【97名】

(5) こどもファーストデイ

大阪府の「こころの再生」施策の一環として毎月第3土曜日に実施した。家族のコミュニケーションを深めるきっかけづくりを応援した。廃材などを有効に活用することで、エコ活動の意識を醸成するとともに、伝統的な玩具などの工作を行った。 【12回・770名】

4月15日(土)ピタゴラビー玉、5月20日(土)ペット空気砲

6月17日(土)むかしのおもちゃ 蔵入り、7月15日(土)ヨット

8月13日(日)夏休みこども工作室、9月16日(土)ガチャ玉パラシュート

10月21日(土)手回し風車、11月18日(土)ストロー笛

12月16日(土) クリスマスツリー、1月20日(土) 体操人形
2月17日(土) スーパーカー、3月17日(土) パタパタ板返し

8. 企業との連携事業

(1) 展示・広報・イベント等での協働

近鉄文化サロン等の近鉄グループと連携を通して、講座等を共同で実施し、広報や企画に関して民間の視点から協力を得た。6(2)③参照。

(2) 遺跡見学ツアー

旅行会社と連携し、遠方へのツアーを共同企画した。

- ・10月24日(火)～26日(木) 国際交流サービス 福島・栃木の古墳を訪ねて 【16名】
- ・12月12日(火)～14日(木) 国際交流サービス 静岡史跡と考古の旅 【14名】
- ・2月6日(火)～8日(木) 国際交流サービス 宗像大社と北部九州考古の旅 【38名】

9. 広報普及研究事業

(1) 機関紙「アスカディア・古墳の森」(博物館だより)の発行

展示会の案内、博物館活動の報告、タイムリーな話題や収蔵品の紹介を掲載して、博物館と府民のコミュニケーションを図るPR誌を年2回発行した。

博物館だより Vol. 47 9月30日発行 4,000部

博物館だより Vol. 48 3月31日発行 4,000部

(2) 近つ飛鳥博物館「館報」の刊行

館長以下、学芸員の研究報告、博物館活動の紹介、年間事業報告などを掲載する館報を刊行した。

12月31日発行

(3) 催し物案内の作成

府民や各種団体に博物館行事の周知を図り、来館を促すためのチラシを作成した。3か月単位のミュージアムカレンダーを作成・配布した。

(4) マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

新聞、テレビ、ラジオの報道機関、ミニコミ誌へ積極的に情報を提供した。鉄道会社にはポスター掲示をし、広くPRした。また、博物館周辺の地域住民へは自治会を通じて実施した。

【報道提供11回・新聞雑誌広報等掲載回数180回】

(5) 広報の強化

インターネットの博物館情報サイト等の活用や、近畿圏の博物館との広報連携を通じて、より効果的な広報活動を展開した。

(6) ホームページの充実

常設展・特別展・企画展の情報・博物館催し物案内など、近つ飛鳥博物館ホームページから発信した。学芸員の活動等はブログで即時的に発信し、内容の充実に努めた。

【HP更新 126 回・アクセス数 143, 543】

10. 研究事業

(1) 他博物館などと連携した研究活動

大阪府、奈良県の博物館が連携した「金剛葛城地域博物館ネットワーク協議会」に加盟し、情報・意見交換、共同事業（今年度はシンポジウム「5・6世紀の葛城と交通路」）の開催など、相互協力した事業を進めた。また、学会・研究会等と連携した活動にも努めた。

(2) 国内・海外の研究者との学術交流

国内大学等研究者【212名】、海外研究者【9名】

(3) 研究成果の発表

近つ飛鳥博物館「館報」や土曜講座、外部依頼の講座において、研究成果を掲載し、発表した。

(4) 客員学芸員の任命

学芸機能の充実のため、外部より客員学芸員2名を任命し、特別展企画展事業への指導・助言、普及活動の実施、図録の原稿執筆、講演会事業などでの助力を得た。

11. 資料調査収集製作事業

(1) 図書購入

学術図書並びに普及啓発用図書を計画的に購入した。

(2) 館蔵資料の資料管理、学術的整理

重要文化財「修羅」、紫金山古墳、南塚古墳出土品など、定期的な点検を実施した。また、館蔵資料の観察記録作成などの資料整理を行った。

12. サービス事業

(1) マーケットリサーチ、満足度調査の実施

アンケート等により、来館者の博物館に対するニーズを明確にし、今後の事業展開の基礎とした。また、意見について、可能なものについては対処を行った。

【意見と対応】

- ・写真撮影可否の表示が分かりにくい。
⇒受付で撮影禁止場所を示した図を配布する。
- ・常設展示品の変更や、配置を工夫したら如何か。

⇒展示のリニューアルを求めていくとともに、スポット展示を実施する。

・機器の故障が多い。⇒大学との連携事業で、一部の機器で新しい映像展示を始めた。

(2) 設備の更新

消防設備不良箇所の改修を行なった。

冷水用圧力発信機の電源が劣化したので交換した。

冷房・暖房用チラーフィンの洗浄を行なった。

遠方発停用電源不良の改修を行なった。

喫茶コーナー天井照明不点のため安定器を交換した。

エレベータ2号機の修繕を行なった。

展示室聖徳太子シアターのDVDコントローラー不良を修繕した。

13. 研修事業

(1) 学芸研修

会議や研修に参加し、博物館管理・運営の参考とした。

7月12日(水) 平成29年度全国博物館館長会議 於：文部科学省

7月13日(木)・14日(金) 全国歴史民俗系博物館協議会年次集会 於：九州国立博物館

7月25日(火) 公開承認施設会議 於：文部科学省

11月16日(木)・17日(金) 平成29年度全国風土記の丘協議会総会・研修会

於：島根県立八雲立つ風土記の丘

(2) 人権研修

人権啓発映像教材を使って、人権研修を実施した。来館者に対するきめ細やかなサービスにもつながる研修である。

12月27日(水)

(3) 消防訓練研修

富田林消防署河南分署に依頼し、火災等発生時の対応について訓練・研修を実施した。また来館者の救急対応に備え、AED訓練も実施した。

12月27日(水)

14. 入館者数及び入館料一覧

(平成29年度)

区分	入館者数					入館料 (円・税込)	開館日数 (日)
	展示室入館者数			普及ゾーン	博物館		
	有料	無料	計	利用者数	総入館者数		
常設展	3,346	2,425	5,771	19,030	24,801	831,550	104
割合 (%)	20.9	14.9	17.9	29.4	25.6	13.3	
春季特別展 東国尾張	4,697	3,803	8,500	12,678	21,178	2,142,460	50
割合 (%)	29.3	23.3	26.3	19.6	21.8	34.2	
夏季企画展 百舌鳥・古市古墳群	2,984	2,558	5,542	8,691	14,233	997,410	50
割合 (%)	18.6	15.7	17.1	13.4	14.7	15.9	
秋季特別展 筑紫・吉備・畿内	2,980	3,408	6,388	13,413	19,801	1,299,720	50
割合 (%)	18.6	20.9	19.8	20.7	20.4	20.8	
冬季特別展 慈雲生誕300年	1,997	4,132	6,129	10,902	17,031	992,060	50
割合 (%)	12.5	25.3	19.0	16.8	17.5	15.8	
合計	16,004	16,326	32,330	64,714	97,044	6,263,200	304
割合 (%)	100	100	100	100	100	100	

<年度比較>

平成28年度実績	13,998	16,486	30,471	59,551	90,025	4,818,200	307
平成27年度実績	18,290	16,003	34,293	66,725	101,018	6,846,080	309
平成26年度実績	18,006	15,513	33,519	74,541	108,060	6,459,560	306

VI 泉佐野市立歴史館いずみさの事業

1. 常設展示

泉佐野を代表する歴史遺産である中世荘園の日根荘の時代をテーマにした展示。その時代の人びとの暮らしなどを当時の絵図や日記、荘園模型をもとに紹介。必要に応じて展示資料の解説を実施した。

2. 特別展企画展館蔵品展事業

特別展示スペースを使用して、4回の展覧会を実施した。

(1) 春季特別展「泉佐野の遺跡」

【入館者数：2,023名 29名/日】

ア. 開催趣旨

泉佐野市は古くから人々の生活の場となっていた。段丘面の上を中心に多くの遺跡が存在し、その時代も旧石器時代から中近世まで広範囲に及んでいる。春季特別展では、これらの遺跡と発掘された出土遺物について時代順に展示し、また空港連絡道の発掘調査などによって姿を現した日根荘関連の遺跡を紹介した。

イ. 開催期間 平成29年4月15日(土)～7月9日(日)

【会期：70日間】

ウ. 講演会 開催に際し、展示に即した特別講演会を実施した。

第1回 6月10日(土)「泉佐野の遺跡」 西村 歩(当館副館長) 【参加者数：26名】

第2回 7月5日(水)「古代の泉佐野」 貝川克士(泉佐野市教育委員会)

【参加者数：34名】

エ. 学芸員による展示解説 特別展示室において学芸員が展示解説を行った。

5月13日(土) 【参加者数：24名】

(2) 夏季企画展「ちょっと昔の泉佐野－戦争といずみさの－」

【入館者数：2,189名 34名/日】

ア. 開催趣旨

泉佐野は古来より戦火の絶えない地であり、古代・中世を通じて数多くの戦乱の舞台となっている。本展示では、近代の日露戦争や太平洋戦争を取り上げ、館蔵資料及び新規寄贈資料を中心に戦時下の泉佐野の様子や歴史を紹介した。

イ. 開催期間 平成29年7月22日(土)～10月8日(日)

【会期：65日間】

ウ. 講演会 開催に際し、展示に即した特別展講演会を実施した。

第1回 8月17日(木)「戦争といずみさの」

横山篤夫氏(元泉佐野市史近現代部会専門委員) 【参加者数：21名】

エ. 学芸員による展示解説 講演会開催日に特別展示室において学芸員が展示解説を行った。

8月17日(木) 【参加者数：21名】

(3) 秋季特別展「向井久万裸婦像展」

【入館者数：1,984名 37名/日】

ア. 開催趣旨

泉佐野市が生んだ日本画家、向井久万は、昭和11年に西山翠嶂の門下生として画業に身を投じ、その後、活動の舞台を京都から鎌倉へ移して、数々の受賞歴をもってその名を全国に知られていっ

た。向井久万の人生における大きなテーマは人体の描写で、画業の円熟期には多数の優れた裸婦像が制作された。また人生の後半には仏を題材とした秀作を残したが、これらは彼が生涯をかけて追求した人体描写の延長線上に位置するものであった。秋季特別展では本館蔵の裸婦像を中心に展示し、人生をかけて向井久万が追求した人の姿の変遷をたどった。

イ. 開催期間 平成29年10月21日(土)～12月24日(日) 【会期:53日間】

ウ. 講演会 開催に際し、展示に即した講演会を実施した。

第1回 12月2日(土) 「日本画における裸婦表現について」

西田桐子氏(兵庫県立美術館学芸員) 【参加者数:17名】

(4) 冬季企画展「昔の道具展—漁具とくらし—」 【入館者数:1,815名 30名/日】

ア. 開催趣旨

泉佐野市域では、古くから漁業が盛んであった。「チヌの海」とも称される大阪湾に面した港町としての性格を有する泉佐野の歴史を紹介する。発展の舞台となった佐野町場の絵図、魚に関する資料、漁業に関係する奉納品(絵馬)、玩具、道具類を展示することで、漁業が人びとのくらしと密接な関係にあったことを解説した。

イ. 開催期間 平成29年1月13日(土)～平成30年3月25日(日) 【会期:61日間】

ウ. 講演会 開催に際し、展示に即した講演会を実施した。

第1回 3月10日(土) 「古代の船と漁業」

塚本浩司氏(大阪府立弥生文化博物館総括学芸員) 【参加者数:20名】

エ. 学芸員による展示解説 講演会開催日に特別展示室において学芸員が展示解説を行った。

3月10日(土) 【参加者数:11名】

3. エントランスホールの運営

(1) さわれる民具コーナー

昔の民具に触れ、体験できるようにした。

(2) 資料コーナー

日根荘及び歴史に関する図書を自由に閲覧できる場を設けた。また、子どもに親しんでもらうよう折り紙と塗り絵を設置した。

(3) 日根荘コーナー

日根荘模型を展示し、日根荘を紹介した。日根荘を紹介するビデオも上映した。

(4) 市民連携活動 市民が参加する歴史館(歴史館ギャラリー)

市民の創作活動を発表する場として、エントランスホールを歴史館ギャラリーとし、絵画、写真等の作品展を自主事業として実施した。

① 「ビスクドール雛人形展」

【入館者数:804名 45名/日】

ア. 開催趣旨

泉佐野市在住の人形作家作成のビスクドール雛人形を展示し、季節に合致した華やかな展示を開催した。

イ. 開催期間 平成29年3月19日(日)～4月9日(日)

【会期:18日間】

②「世界文化遺産を大阪へ」

【入館者数：1,581名 36名/日】

ア. 開催趣旨

百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議と連携し、大阪大学レゴ部製作の巨大古墳を模したモニュメントを展示するとともに世界遺産登録を目指す百舌鳥・古市古墳群についてのパネル展示を開催した。

イ. 開催期間 11月2日(木)～12月26日(火)

【会期：44日間】

4. 資料収集・保管、施設（備品）の維持管理

(1) 寄贈等された図書の登録

各博物館・各市町村等から歴史館へ寄贈等された図書を図書台帳に登録し、書庫へ配架した。

(2) 資料の保管

展示室、一般収蔵庫、特別収蔵庫の温度湿度を常時監視し、適温適湿の維持に務めた。一般収蔵庫・特別収蔵庫においては燻蒸処理を実施した。

【燻蒸処理実施 平成29年7月28日、平成30年2月15日】

(3) 施設（備品）の維持管理

館内施設（備品）が適切な状態を保つように務めるとともに、来館者への配慮あるいは省資源化を目的として、下記の設備を設置もしくは更新した。

- ・展示室スポットライトをLEDに交換した。
- ・常設展示の展示台の一部についてシートの張替を実施した。
- ・中世荘園復元模型の清掃ならびに点検を実施した。
- ・中世荘園復元模型の周囲に、模型への接触に対して注意を促す光電式センサーを設置した。

5. 資料貸出等

当館所蔵の資料（実物・復元・写真・映像等）を全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用するとともに、各方面へ日根荘に関する情報を発信した。

【資料4件・7点/写真4件・57点、アルバム14点】

6. 普及事業

(1) 館長講演会

春と秋の年2回、田邊征夫館長による講演会を実施した。

①春の館長講演会 5月13日(土) 「わかってきた飛鳥の都の姿」 【参加者数：26名】

②秋の館長講演会 11月18日(土) 「わが国最初の仏教寺院とその役割」 【参加者数：25名】

(2) 中世史講座

日根荘が立荘された時代、とりわけ日本の中世を取り上げ、当時の社会構造を学ぶことを目的として中世史の概論講座を開催した。

「中世史概論」全4回 細田慈人(当館学芸員)

第1回 9月6日(水) 「王朝国家の成立」

【参加者数：32名】

- | | | | |
|-----|--------------|--------------|------------|
| 第2回 | 10月4日(水) | 「土地制度の破綻と変化」 | 【参加者数：31名】 |
| 第3回 | 平成30年2月7日(水) | 「戦乱の影響」 | 【参加者数：27名】 |
| 第4回 | 平成30年3月7日(水) | 「中世の宗教・芸能」 | 【参加者数：30名】 |

(3) 古文書講座

古代史ファンと中世史ファンのそれぞれの来館者増加を目的として、古文書講座の古代編と中世編を実施した。

①「和泉監正税帳の世界」全4回 西村 歩(当館副館長)

- | | | | |
|-----|-----------|--------------|------------|
| 第1回 | 10月21日(土) | 「和泉監正税帳を読む①」 | 【参加者数：15名】 |
| 第2回 | 10月28日(土) | 「和泉監正税帳を読む②」 | 【参加者数：15名】 |
| 第3回 | 11月4日(土) | 「和泉監正税帳を読む③」 | 【参加者数：14名】 |
| 第4回 | 11月11日(土) | 「和泉監正税帳を読む④」 | 【参加者数：12名】 |

②「古文書を読むー古文書学的読解ー」全4回 細田慈人(当館学芸員)

- | | | | |
|-----|---------------|----------------|------------|
| 第1回 | 11月25日(土) | 「古文書学入門」 | 【参加者数：21名】 |
| 第2回 | 12月9日(土) | 「律令国家と文書」 | 【参加者数：22名】 |
| 第3回 | 12月24日(日) | 「中世文書の読み方・調べ方」 | 【参加者数：23名】 |
| 第4回 | 平成30年1月13日(土) | 「中世の文書を読む」 | 【参加者数：21名】 |

(4) 歴史講座(歴史・考古学講座)

歴史を学びたい方を対象に、考古学をテーマとした歴史講座を実施した。

全4回 西村 歩(当館副館長)

- | | | | |
|-----|---------------|----------|------------|
| 第1回 | 7月26日(水) | 「古墳と伝承」 | 【参加者数：35名】 |
| 第2回 | 8月30日(水) | 「城郭の構造」 | 【参加者数：35名】 |
| 第3回 | 9月27日(水) | 「地形を学ぶ」 | 【参加者数：34名】 |
| 第4回 | 平成30年2月24日(土) | 「本願寺の源流」 | 【参加者数：30名】 |

(5) 子ども向け体験(土曜れきし館ワークショップほか)

子ども向けの体験事業を定期的に開催した。

- | | | |
|-----------|-----------------------------|------------|
| 4月15日(土) | 「おどろき盤をつくろう！」 | 【参加者数：8名】 |
| 5月20日(土) | 「大きな紙で折り紙! 「かぶと」をつくろう！」 | 【参加者数：13名】 |
| 6月24日(土) | 「星に願いを☆折紙で七夕飾りを作ろう！」 | 【参加者数：9名】 |
| 7月8日(土) | 「泥面子をつくろう！」(協力：大阪府立弥生文化博物館) | 【参加者数：16名】 |
| 8月26日(土) | 「万華鏡を作ろう！」(博物館実習生企画) | 【参加者数：16名】 |
| 9月30日(土) | 「ハガキをつくろう！」 | 【参加者数：17名】 |
| 10月14日(土) | 「オリジナルしおりをつくろう！」 | 【参加者数：39名】 |
| 10月21日(土) | 「勾玉教室」 | 【参加者数：47名】 |
| 10月22日(日) | 「勾玉教室」 | 【参加者数：2名】 |
| 11月19日(日) | 「勾玉教室」 | 【参加者数：9名】 |
| 11月26日(日) | 「まゆ玉でサンタ人形を作ろう！」 | 【参加者数：17名】 |
| 12月16日(土) | 「筆で今年の漢字を書こう！」 | 【参加者数：9名】 |

平成 30 年 1 月 14 日 (日)

「お餅をついてみよう！」

【参加者数：18 名】

「干支の置物を作ろう！」 (協力：工房平窯 番匠谷浩平氏)

【参加者数：6 名】

平成 30 年 2 月 10 日 (土) 「チリメンモンスターをさがそう！」 (協力：きしわだ自然資料館)

【参加者数：16 名】

平成 30 年 3 月 17 日 (土) 「ミニわらじのストラップをつくろう！」

【参加者数：11 名】

7. 学校教育連携

(1) 出前授業

幼稚園児から高校生に至るまで、館や郷土の歴史・民俗に親しみをもってもらうため、学芸員等が学校に出かけ、体験学習等を行った。

＜泉佐野市＞長南小学校、日根野中学校、日新小学校、日根野小学校、北中小学校、長坂小学校

【6 校 7 回：計 698 名】

(2) 小中学校の団体受け入れ

各学校との連携により、当館の学芸員が展示解説を行い、展示室での生徒の学習を支援した。

＜泉佐野市＞第一小学校、北中小学校、日根野小学校、中央小学校、大木小学校、未広小学校

【6 校 6 件：計 451 名】

(3) 博物館実習の受け入れ

7 月 21 日 (金) 奈良大学通信教育学部 【26 名】

8 月 22 日 (火) ～8 月 26 日 (土) 近畿大学 3 回生 【2 名】

大手前大学 4 回生 【1 名】

佛教大学 4 回生 【2 名】

龍谷大学 4 回生 【1 名】

京都府立大学 4 回生 【1 名】

(4) 大学・高等学校、その他団体の受け入れ

小中学校の他、大学、高等学校、その他団体を受け入れ、当館の学芸員が展示解説を行い、学習を支援した。

①大学・高等学校

＜大学＞和歌山大学 【1 校 25 名】

駒澤大学 【1 校 6 名】

【2 校：計 31 名】

②その他団体

障害者団体、西友歩会、大阪本町歴史倶楽部、新生会病院、泉佐野市立第一小学校社会科教員講習会、泉佐野観光ボランティア協会、平群町人権交流センター運営審議会・平群町人権対策協議会、大阪府高齢者大学校 【8 件：計 133 名】

8. 市民・各種団体連携

(1) でかける歴史館

他施設において、講演会や体験学習事業等を実施し、歴史館いずみさのの知名度アップを図り、多くの方々の来館を促進した。

- ①泉南市埋蔵文化財センター 【参加者数：33名】
7月28日（金）ハスフェスタ「牛乳パックで葉書作り」細田、乾
- ②近鉄文化サロン まなぼスタジオ 【参加者数：11名】
8月12日（土）「ハガキを作ろう！」細田
- ③特区ガイド養成研修 【参加者数：28名】
9月3日（日）歴史・文化「考古・古代・民俗芸能」西村・辻川 【参加者数：14名】
10月8日（土）歴史・文化「中世・近現代」細田 【参加者数：14名】
- ④イオンモール日根野・大阪府住宅供給公社 【参加者数：27名】
9月16日（土）子育て応援フェア親子でワークショップ「墨書皿をつくろう！」細田・乾
- ⑤平野区歴史講座 【参加者数：58名】
10月8日（日）「加美・久宝寺遺跡－邪馬台国時代の集落と墓地－」西村
- ⑥長南公民館 【参加者数：80名】
10月28日（土）「中世の長滝の歴史－長滝荘の成り立ち－」細田
- ⑦観光ボランティア養成講座 【参加者数：20名】
10月29日（日）「泉佐野市の歴史的観光資源」細田
- ⑧熊野街道歩こう会（熊々会）歴史ウォーク 【参加者数：8名】
11月29日（水）「佐野町場案内」細田
- ⑩泉南市埋蔵文化財センターはくふだ祭り 【参加者数：17名】
12月9日（土）「紙で遊ぶ」細田・辻川
- ⑪近鉄文化サロン 【参加者数：62名】
平成29年12月7日（木）「正倉院文書「和泉監正税帳」にみる古代社会①」西村 【17名】
平成30年1月30日（火）「正倉院文書「和泉監正税帳」にみる古代社会②」西村 【21名】
平成30年2月20日（火）「正倉院文書「和泉監正税帳」にみる古代社会③」西村 【24名】
- ⑫大阪府立弥生文化博物館はくふだ祭り 【参加者数：23名】
平成30年2月4日（日）「まゆ玉人形をつくろう！」 細田・辻川
- ⑬大阪府立弥生文化博物館弥生フェスティバル 【参加者数：101名】
平成30年3月25日（日）「身近なものでつくる、昔のおもちゃ！」細田・辻川

9. 来館者の受入・対応

来館者への案内をし、開館時間中の館内及び展示室内の見回り点検と清掃を実施した。

(1) 「れきし相談コーナー」の設置

「れきし相談コーナー」を設け、来館者からの歴史・考古学に関する質問や相談等にきめ細やかに対応した。

10. 広報公聴活動

(1) 『歴史通信いずみさの』の刊行

館の活動を報告し、博物館に対する市民の理解を得るため、定期的に『歴史通信いずみさの』を刊行した。

- ・歴史通信いずみさの Vol.30「春季特別展」

(2) 『広報いずみさの』への掲載

館行事を広く周知するため、泉佐野市の広報誌『広報いずみさの』に行事を随時掲載した。

- ・広報いずみさの4月号 いずみさの昔と今 第256回「泉佐野の遺跡～檀波羅蜜寺跡～」
- ・広報いずみさの5月号 いずみさの昔と今 第257回「大木遺跡（長福寺跡）」
- ・広報いずみさの6月号 いずみさの昔と今 第258回「泉佐野の鉄道～南海本線について～」
- ・広報いずみさの7月号 いずみさの昔と今 第259回「泉佐野の鉄道～JR阪和線～」
- ・広報いずみさの8月号 いずみさの昔と今 第260回「戦争資料～佐野飛行場について～」
- ・広報いずみさの9月号 いずみさの昔と今 第261回「向井久万の人生と作品」
- ・広報いずみさの10月号 いずみさの昔と今 第262回「喧嘩は祭りの華！泉佐野のだんじり祭」
- ・広報いずみさの11月号 いずみさの昔と今 第263回「向井久万、その作品と軌跡」
- ・広報いずみさの12月号 いずみさの昔と今 第264回「大木・土丸の12月」
- ・広報いずみさの1月号 いずみさの昔と今 第265回「泉佐野の打瀬網」
- ・広報いずみさの2月号 いずみさの昔と今 第266回「泉佐野と漁業」
- ・広報いずみさの3月号 いずみさの昔と今 第267回「桃の節句とは～邪気払いと成長を祈る～」

(3) その他情報提供

南海電鉄の情報誌『NATTS』にも情報を提供し、広報活動を充実した。また、泉州・紀北ミュージアムネットワークへの加入を継続し、情報発信した。

- ・南海 NATTS5・6月号、7・8月号、9・10月号、11・12月号、3・4月号
- ・泉州・紀北ミュージアムネットワークMネットかわら版 2017春、2017夏、2017秋、2018冬

(4) 歴史館紹介ちらしの配付

出前授業で学校を訪問した際には、生徒各々に来館を促すちらしを配付し、小・中学生を中心とする子どもたちが家族で歴史館に来館する動機づけを進めた。

(5) 特別展・企画展・その他催しのポスター等の作成・配布

ポスター、チラシ、リーフレットを催しの規模に応じて作成し、広報活動に活用した。

(6) 常設展リーフレットの配布

常設展示の内容を簡単に紹介したA4三折りのリーフレットを配布した。

(7) 小学生用のワークシート

小学生が日根荘を学習するワークシート「歴史館チャレンジ」を学年別に配布した。

(8) 解説シート

常設展示の解説シート（3種）等を用意した。

(9) アンケート調査の実施

よりよい館運営を行うため、展示室にアンケート用紙を設置したほか、講演会でアンケート用紙を配付し、来館者の要望や、展示・講演会内容の意見などの把握に努めた。

(10) マスコミへの資料提供

各種イベントごとに報道提供資料を作成し、情報を提供した。

(11) 取材対応

新聞社やテレビ局各社をはじめ情報誌、地元放送局の取材に応じ、情報を発信した。

- ・J:COM りんくう 4月15日(土) 春季特別展・WS「おどろき盤をつくろう！」取材
- ・J:COM りんくう 5月20日(土) WS「大きな紙で折り紙！「かぶと」をつくろう！」取材
- ・J:COM りんくう 6月24日(土) WS「星に願いを☆折り紙で七夕飾りを作ろう！」取材
- ・テレビ岸和田 7月6日(木) 常設展示模型 取材
- ・J:COM りんくう 8月17日(木) 夏季企画展講演会「ちょっと昔の泉佐野ー戦争といずみさのー」取材
- ・J:COM りんくう 8月30日(水) 第2回歴史・考古学講座「城郭の構造」取材
- ・毎日新聞 9月8日(金) 夏季企画展「ちょっと昔の泉佐野ー戦争といずみさのー」取材
- ・mK5 (NHK) 10月15日(日) 「日本人のおなまえっ！」取材
- ・mK5 (NHK) 10月24日(火) 「日本人のおなまえっ！」取材
- ・J:COM りんくう 10月24日(火) 秋季特別展「向井久万裸婦像展」取材
- ・J:COM りんくう 12月16日(土) WS「筆で今年の漢字を書こう！」取材
- ・J:COM りんくう 平成30年1月23日(火) 冬季企画展「昔の道具展ー漁具とくらしー」取材

(12) インターネットホームページ

【フェイスブック更新：62回】

ホームページおよびフェイスブックによる展覧会、行事の情報発信を行った。

11. 人材育成

(1) ミュージアムスタッフの人材育成研修

人と人とのふれあいを大切にし、心地よい博物館を目指して、来館者に対する応対マナーの研修を実施した。

(2) ボランティア活動（市民が参加する歴史館）

広く市民ボランティアを募集し、市民とともに博物館事業を推進した。

12. 施設の利用許可対応

研修室の利用許可の対応を行った。

- | | |
|--|------------|
| 7月26日(水) 泉佐野市教育委員会 泉佐野市人権教育研究会 | 【利用者数：50名】 |
| 8月1日(火) 泉佐野市教育委員会 人間関係づくり研修 | 【利用者数：20名】 |
| 9月28日(木) 泉佐野市教育委員会 アクティブ・スクールに係る市町村教育委員会訪問 | 【利用者数：4名】 |
| 10月24日(火) 泉佐野市教育委員会 校園長役員会 | 【利用者数：12名】 |
| 10月26日(木) 泉佐野市教育委員会 佐人研推進委員会 | 【利用者数：30名】 |
| 10月31日(火) 泉佐野市教育委員会 スクリーニング活用に向けた連絡会 | 【利用者数：5名】 |
| 11月24日(金) 泉佐野市教育委員会 佐人研推進委員会 | 【利用者数：30名】 |

11月28日(火) 泉佐野市教育委員会 生徒会担当社会	【利用者数：10名】
12月15日(金) 泉佐野市教育委員会 泉南地区人事担当社会	【利用者数：20名】
平成30年1月23日(火) 泉佐野市教育委員会 人権教育研修講座	【利用者数：40名】
平成30年2月9日(金) 泉佐野市教育委員会 佐人研推進委員会	【利用者数：30名】

13. 書籍の販売

泉佐野市発行の常設展・特別展の図録等の書籍の販売に協力した。

14. 市との意見交換

管理運営に関する協議を遅延なく実施し、また、意見交換会を月1回、定期的に開催した。

15. 利用者数一覧表

(平成29年度)

区 分	入館者数 (名)	館外 自主事業 利用者 (名)	講師依頼 による 利用者 (名)	合 計	備 考
常設展	1,577	0	0	1,577	45日間
割合(%)	16	0	0	15	
春季特別展	2,023	340	0	2,363	70日間
割合(%)	21	36	0	22	
夏季企画展	2,189	86	71	2,346	65日間
割合(%)	23	9	33	22	
秋季特別展	1,984	186	17	2,187	53日間
割合(%)	21	20	8	20	
冬季企画展	1,815	322	124	2,261	61日間
割合(%)	19	35	59	21	
合 計	9,588	934	212	10,734	294日間
割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	

平成28年度実績	9,070	119	852	10,041	293日間
----------	-------	-----	-----	--------	-------

Ⅶ 日本民家集落博物館事業

1. 展示事業

民家や展示室を活用して、各種展示を開催した。

(1) 常設展示

- ① 第一ブロック：国指定文化財を中心とするエリアでは下記文化財を展示公開した。

国指定重要文化財 = 摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、日向椎葉の民家

国指定重要有形民俗文化財 = 飛騨白川の民家

大阪府指定有形文化財 = 奄美大島の高倉

未指定 = 河内布施の長屋門、堂島の米蔵

その他 = 戦国期の五輪塔、地蔵

また、「セミナーハウス」を設置している。

- ② 第二ブロック：大阪府指定文化財を中心とするエリアでは下記文化財を展示公開した。

大阪府指定有形文化財 = 大和十津川の民家、越前敦賀の民家、南部の曲家

大阪府指定有形民俗文化財 = 小豆島の農村歌舞伎舞台

未指定 = 北河内の茶室、刳舟（奄美のサバニ・島根のソリコ）

- ③ 「むかしのくらし展示」

稲作に関する民具を展示するとともに、「昭和の部屋」として昭和30年代の一部屋を再現している。

石臼体験コーナーを併設。

(2) 市民展示

地域の文化サークルや団体・個人の文化活動の発表の場として、展示室や民家をギャラリーとして活用することにより地域に開かれた博物館を目指した。

- ① 「春のてまり展」 場所：堂島の米蔵

ア. 開催概要 日本てまりの会「都てまり」による、創作てまりを展示した。

イ. 開催期間 4月2日（日）～4月16日（日）

- ② 「木目込み人形展Ⅱ」 場所：堂島の米蔵

ア. 開催概要 ボランティアによる木目込み人形の作品展。

イ. 開催期間 6月3日（土）～6月18日（日）

- ③ 「彫刻と切り絵展2 仏様と七福神・十二神将」 場所：堂島の米蔵

ア. 開催概要 十二神将等、仏像の切り絵作品を展示した。

イ. 開催期間 10月7日（土）～10月22日（日）

- ④ 「能・狂言面展」 場所：日向椎葉の民家

ア. 開催概要 「遊創工房」製作による能面作品を展示した。

イ. 開催期間 10月14日（土）～10月22日（日）

- ⑤ 「游心会展」 場所：日向椎葉の民家・摂津能勢の民家・大和十津川の民家

ア. 開催概要 「游心会」会員による書道作品を展示した。

イ. 開催期間 11月4日（土）～11月12日（日）

- ⑥「きらめき写楽会写真展」 場所：堂島の米蔵
 ア. 開催概要 写真サークル「きらめき写楽会」による民家の写真を展示した。
 イ. 開催期間 11月18日(土)～12月3日(日)
- ⑦「みんかのボランティア展示会」 場所：日向椎葉の民家
 ア. 開催概要 当博物館のボランティア活動をしていただける方々の作品を展示した。
 イ. 開催期間 平成30年3月3日(土)～3月25日(日)
- ⑧「清家浩二ペン画展8」 場所：堂島の米蔵
 ア. 開催概要 北摂の風景等のペン画作品を展示した。
 イ. 開催期間 平成30年3月10日(土)～3月25日(日)
- ⑨「同友会写真クラブ展」 場所：日向椎葉の民家
 ア. 開催概要 同友会写真クラブ会員による民家等の写真を展示した。
 イ. 開催期間 平成30年3月31日(土)～4月8日(日)

(3) 企画展示

- ①「王慶平の民家模型作品展」 場所：日向椎葉の民家
 ア. 開催概要 中国人留学生による日本の伝統的な茶室や古民家の模型作品展。
 イ. 開催期間 5月13日(土)～5月28日(日)
- ②企画展関連講座「日本の茶庭について」 場所：日向椎葉の民家
 ア. 開催概要 王慶平氏が調査した日本の茶室建築と茶庭について講演を行った。
 イ. 開催期間 5月13日(土)

2. 各種催し開催事業

“親しまれる博物館”のための企画として、次の事業を実施した。

(1) 季節行事

日本に伝わる四季折々の行事に親んでもらうため、民家を活用して下記の催しを行った。

行事名	開催期間	開催場所	備考
こいのぼりと 五月人形飾り	4月21日(金)～ 5月14日(日)	飛騨白川の民家前庭 越前敦賀の民家	
ようか日	5月2日(火)～ 5月7日(日)	摂津能勢の民家	
七夕かざり	7月1日(土) ～7月7日(金)	大和十津川の民家縁側	
お盆飾り	8月11日(金・祝)～ 8月15日(火)	日向椎葉の民家 信濃秋山の民家	
正月飾り	1月5日(金)～ 1月14日(日)	館内各民家	
ふるさとのお雑煮会	1月7日(日)	飛騨白川の民家	雑煮販売 115食
桃の節句・雛飾り	2月17日(土)～ 3月18日(日)	越前敦賀の民家	

(2) 参加体験型事業

来館者自らが体験できる催しを、民家等を会場に下記の通り実施した。

体験教室名	開催期間	開催場所	指導者 参加者
親子たけのこ掘り	4月9日(日)	館内竹林	博物館スタッフ 40名
むかしの遊び(コマ作り、すだれ作り、万華鏡、折り紙、竹馬、腹話術を聞いてみよう)	4月29日(土)・5月3日(水・祝)・4日(木・祝)・5日(金・祝)・6日(土)・7日(日)	館内広場 日向椎葉の民家	ボランティア 180名
親子でなぞり書き	7月23日(日)・28日(金)・8月1日(火)・4日(金)・18日(金)・23日(水)	日向椎葉の民家	博物館スタッフ 11名
養蚕体験糸つむぎ	8月26日(土)	飛騨白川の民家	博物館スタッフ 40名
紙すき体験	8月19日(土)	飛騨白川の民家	紙すき工房 どんぶり10名
親子芋ほり体験	10月15日(日)	飛騨白川裏の畑	ボランティア 30名
はたおり体験	10月20日(金)～22日(日)	南部の曲家	かるがも広場 40名
みんかの餅つき	2月4日(日)	日向椎葉の 民家前	ボランティア 76名
コマ遊び	4月1日～7月1日・9月2日～12月2日・2月17日～3月31日の各土曜日35回実施	日向椎葉の 民家前広場	ボランティア 840名
石臼体験	4月2日～6月18日・9月3日～12月10日・1月21日～3月18日の第1～3日曜日28回実施	石臼コーナー	ボランティア 177名
ゆかた・きものでみんか	6月13日・9月5日・9月23日・9月26日・10月3日・11月22日・1月30日・2月27日・3月6日・3月13日の10回実施	越前敦賀の民家	博物館 スタッフ 24名
みんかで歌おう	6月10日・6月24日・7月8日・9月9日・9月23日・10月14日・10月28日の土曜日7回実施	日向椎葉の民家	ボランティア 25名

(3) 展示民家を活用しての催し

民家を会場として、音楽、古典芸能、昔話、茶会などの催しを行った。文化活動団体に会場を提供することで、民家により親しんでもらうための活用を図った。

1) 市民オープンイベント 場所：小豆島の農村歌舞伎舞台

① 和の装い体験

ア. 内容 「森崎きもの教室」による着物の着付け体験。

イ. 実施日 4月1日(土)

② しの笛桜コンサート 場所：小豆島の農村歌舞伎舞台

ア. 内容 「笛こるり」によるしの笛での民謡やわらべ歌のコンサート。

イ. 実施日 4月2日(日)

③ みんかで太鼓 場所：日向椎葉の民家前庭

ア. 内容 「和太鼓サークル鼓遊」による和太鼓の祭囃し等の演奏会。

イ. 実施日 4月9日(日)

④ 弦楽トリオコンサート 場所：日向椎葉の民家

ア. 内容 「センチュリー・ユースオーケストラ」有志による演奏会。

イ. 実施日 4月23日(日)

⑤ 絵巻物語とマジック 場所：日向椎葉の民家

ア. 内容 「SA 豊中・観覧車」による絵巻物語とマジック。

イ. 実施日 5月28日(日)

⑥ 宮澤賢治の童話がたり～朗読とチェロの夕べ～ 場所：日向椎葉の民家

ア. 内容 岩手県大阪事務所の協力による童話語りとチェロ演奏。

イ. 実施日 9月23日(土)

⑦ 落語で笑ろうて民家 場所：日向椎葉の民家

ア. 内容 「大阪百楽の会」による落語会。

イ. 実施日 10月29日(日)

2) 博物館ボランティア連携イベント

①お茶会 場所：北河内の茶室

ア. 内容 ボランティアの協力を得て茶室を公開し、茶会を開催。

イ. 実施日 4月1日、15日、5月6日、20日、6月3日、17日、7月1日、
15日、9月2日、16日、10月7日、21日、11月4日、18日、
12月2日、16日、1月20日、2月17日、3月17日 計19回

②民家集落わくわくワークまつり

ア. 内容 「服部緑地10月祭」に協賛し、親しめる博物館としてPRするため、ワーク
ショップ、民家のふるさと物産展、模擬店、コンサート等を実施した。(当日
参加者数 397名)

イ. 実施日 10月21日(土)

③民家でひなまつり

ア. 内容 ひなまつりにちなんで、期間中各日とも先着50名の来館者に、小さなお菓子を
プレゼントした。

イ. 実施日 平成30年3月3日(土)～3月4日(日)

3. 普及啓発事業

(1) 民家解説等の開催

①民家解説

ア. 内 容 当館の 20 名のボランティアが、館内のいずれかの民家において、囲炉裏を焚きながらその民家について来館者に解説を行った。

イ. 期 間 通年（開館日毎日）

②民家特別公開

ア. 内 容 安全面への配慮から、通常未公開としている箇所を、ボランティアの協力を得て、特別公開した。

イ. 期 間 通年（毎週火曜日午後）

ウ. 場 所 飛騨白川の民家二階、北河内の茶室

(2) 囲炉裏体験

ア. 内 容 41名のボランティアが、囲炉裏・竈に火を入れ、来館者へ囲炉裏体験サービスを行うとともに、民家の燻蒸に努めた。

イ. 期 間 通年（開館日毎日）

ウ. 場 所 飛騨白川の民家、日向椎葉の民家、摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、南部の曲家、越前敦賀の民家

(3) 連続講座「民家集落セミナー」

民家や町並み、日本の暮らしについて考えを深める講演会を開催した。

第一回 「住文化研究の視点」 森 隆男（元関西大学教授）

開催日：5月20日（土）

第二回 「アメリカ合衆国中西部、南部の民家と町並みを訪ねて」

杉本尚次（国立民族学博物館名誉教授）

開催日：5月27日（土）

第三回 「高齢者と博物館のより良き関係とは」 瀧端真理子（追手門学院大学教授）

開催日：6月3日（土）

4. 学校教育連携事業

(1) 遠足等校外学習の受け入れ

100校 7,279名

(2) 小学校の体験学習

ア. 内 容 小学3年生社会科「昔の暮らし」・4年生社会科「暮らしの移りかわり」単元と連動し、民家や民具を活用した独自の体験学習プログラムを実施した。

イ. 実施日 平成30年1月16日（火）他

ウ. 受 入 豊中市立東豊中小学校他 計5校 417名

(3) 中学生の職場体験学習

ア. 内 容 豊中市立第17中学校2年生、箕面市立第四中学校2年生の職場体験実習を受け入れ、地域の学校との連携を深めた。

イ. 期 間 11月7日(火)～9日(木)

ウ. 受入人数 3名

5. ボランティア活動事業

ボランティアを募集し、その援助により館の諸活動の充実を期するとともに、地域社会に生涯学習の場を提供した。今年度は、75名が活動した。(新規登録者2名)

6. 施設整備事業

(1) 園路等の補修

ア. 内 容 大和十津川の民家前の階段の整備を行った。

イ. 工事期間 平成30年1月7日(日)～2月25日(日)

(2) 竹林キーパーの活動開始

ア. 内 容 館内の竹林の伐採・整備活動を専門に行うボランティアを新たに受け入れた。

イ. 活 動 日 4月5日他の毎月第1・第3水曜 計16回

7. 広報事業

(1) 広報リーフレットの作成

「催し案内」を定期的に作成し、関係機関・団体に配布し広報に努めた。

項 目	発 行 月	部 数
秋・冬の催し案内(9月～3月)	7月	13,000部
春・夏の催し案内(4月～9月)	2月	13,000部

(2) インターネットによる広報

センターHPや大阪府・豊中市広報と連携し、当館の概要や催し案内の、インターネットによる広報に努めた。また、当館のホームページの更新を適時図り、「催し案内」や「花だより」などは最新の情報が掲載されるよう充実に努めた。

(3) DVD・ビデオによる広報

「堂島の米蔵」に、博物館紹介のDVD・ビデオの視聴コーナーを設けた。

また、学校等にDVD・ビデオの貸出を行い広報に努めた。

(4) 諸団体との連携

豊中市広報公聴課、地元ケーブルテレビ・FMラジオ、ミニコミ紙、北大阪急行電鉄、緑地公園管理事務所および服部緑地「みどり・文化・地域」を育てる協議会と連携し、効果的な広報に努めた。また、阪急友の会、府教職員互助組合等各種団体のメディアを通じての広報も実施した。

(5) 資料の作成・頒布

「民家の案内」「民俗（上・下巻）」を頒布した。（民家の案内164冊、民俗9冊）

また、小中学生向け案内マップ及び英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語による案内マップを作成し配布した。

8. 資料収集・研究事業

移築民家や収蔵民具に関する資料を収集するとともに、地域住民と連携し、広く情報を募りながら必要な資料の収集を行った。

9. 入館者数及び入館料収入一覧表

(平成29年度)

月	入館者数(人)	入館料収入(円) 税込	開館日数
4月	5,181	1,804,450	26
5月	4,641	1,291,300	26
6月	2,426	666,050	26
7月	2,183	653,150	26
8月	1,739	520,150	27
9月	2,229	714,850	26
10月	3,686	870,650	26
11月	4,614	1,340,450	26
12月	1,809	528,150	22
1月	1,900	441,000	23
2月	3,147	742,100	24
3月	3,796	1,318,050	27
合計	37,351	10,890,350	305

<年度比較>

	入館者数(人)	入館料収入(円) 税込	開館日数
平成28年度	35,816	9,888,850	305日
平成27年度	38,684	11,098,850	308日
平成26年度	35,507	9,699,650	303日